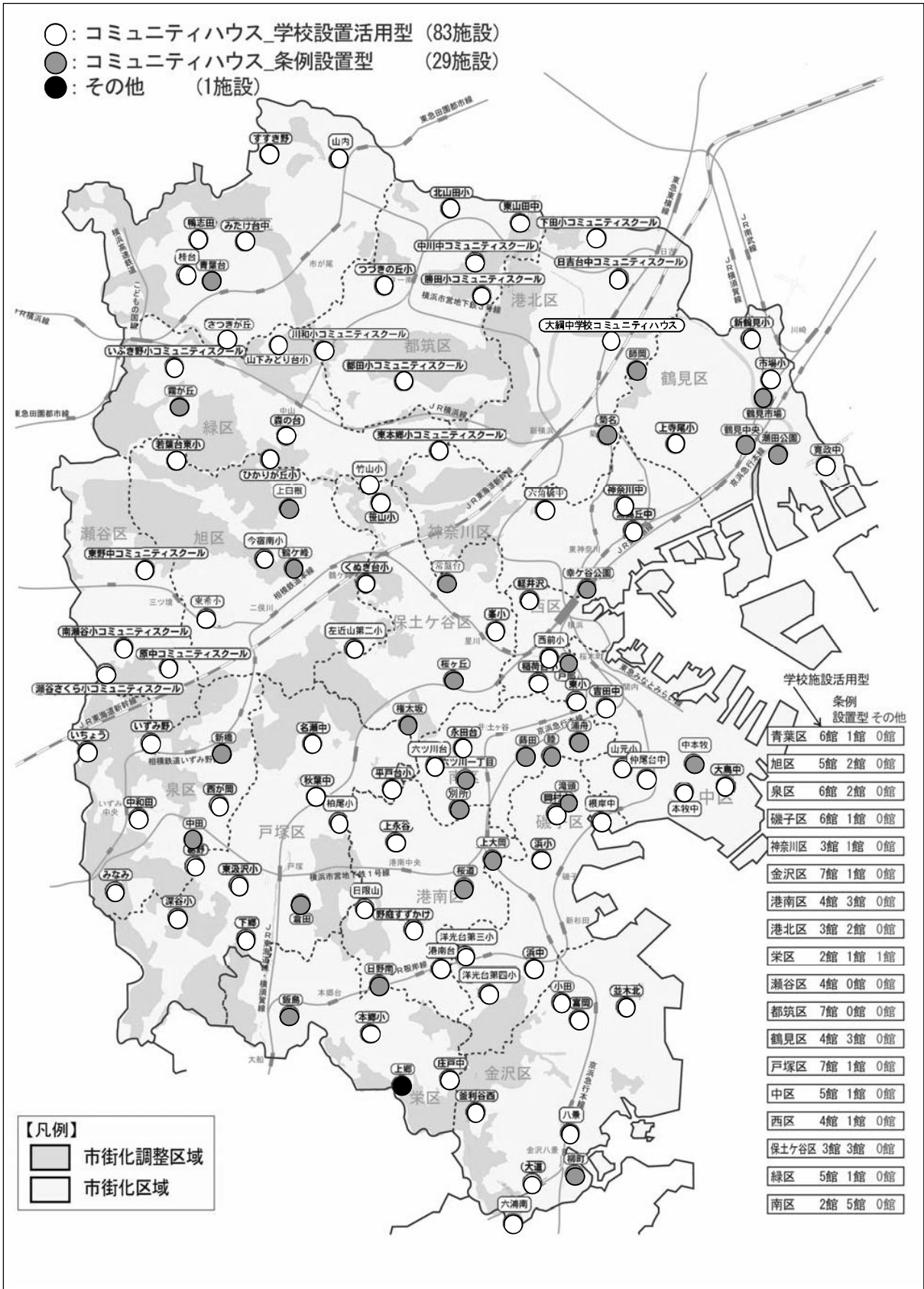


(10) コミュニティハウス

ア 概要

<p>中学校区程度に1館を目途に子どもから高齢者まで、地域住民の交流やボランティア活動、児童・青少年活動・学習活動、自治会町内会活動などの最も身近な拠点として設置されています。現在113施設整備されていますが、そのうち83施設は小・中学校を活用しています。</p>				
基本情報	施設数	113 施設	設置基準	中学校区程度に1箇所
	平均規模	308 m ² (条例設置型 : 436 m ²) (学校施設活用型: 264 m ²) (その他 : 192 m ²)	平均築年数	19 年 (条例設置型 : 23 年) (学校施設活用型 : 17 年) (その他 : 22 年)
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者(条例設置型) 委 託(学校施設活用型・その他)
	主な諸室	会議室、学習室、事務室、 地域ニーズ機能(調理コー ナー、プレイルーム等)等	設置根拠	横浜市地区センター条例 コミュニティハウス(学校施設 活用型)の設置に関する要綱
運営状況		合 計		1施設当たり平均
	年間総コスト	12億9,417万円		1,156万円/施設
	年間利用者数	229万5,048人		2万491人/施設
	年間稼働率	—		56.4%/施設
	利用者1人 当たりコスト	<p>564 円/人・回</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数はH21～H23年度における総利用者数の3か年平均。 ・「上大岡コミュニティハウス」「新橋コミュニティハウス」「常盤台コミュニティハウス」はH21年度途中に開館のため、年間利用者数、稼働率ともH22、H23年度の2か年平均。 ・「鶴見中央コミュニティハウス」「日野南コミュニティハウス」はH22年度途中に開館のため、年間利用者数、稼働率ともH23年度の値を掲載。 ・「別所コミュニティハウス」はH23年度途中に開館のため、運営状況からは除く。 ・「師岡コミュニティハウス、権太坂コミュニティハウス」は民間施設のため平均築年数の計算からは除く。 			

イ 配置状況

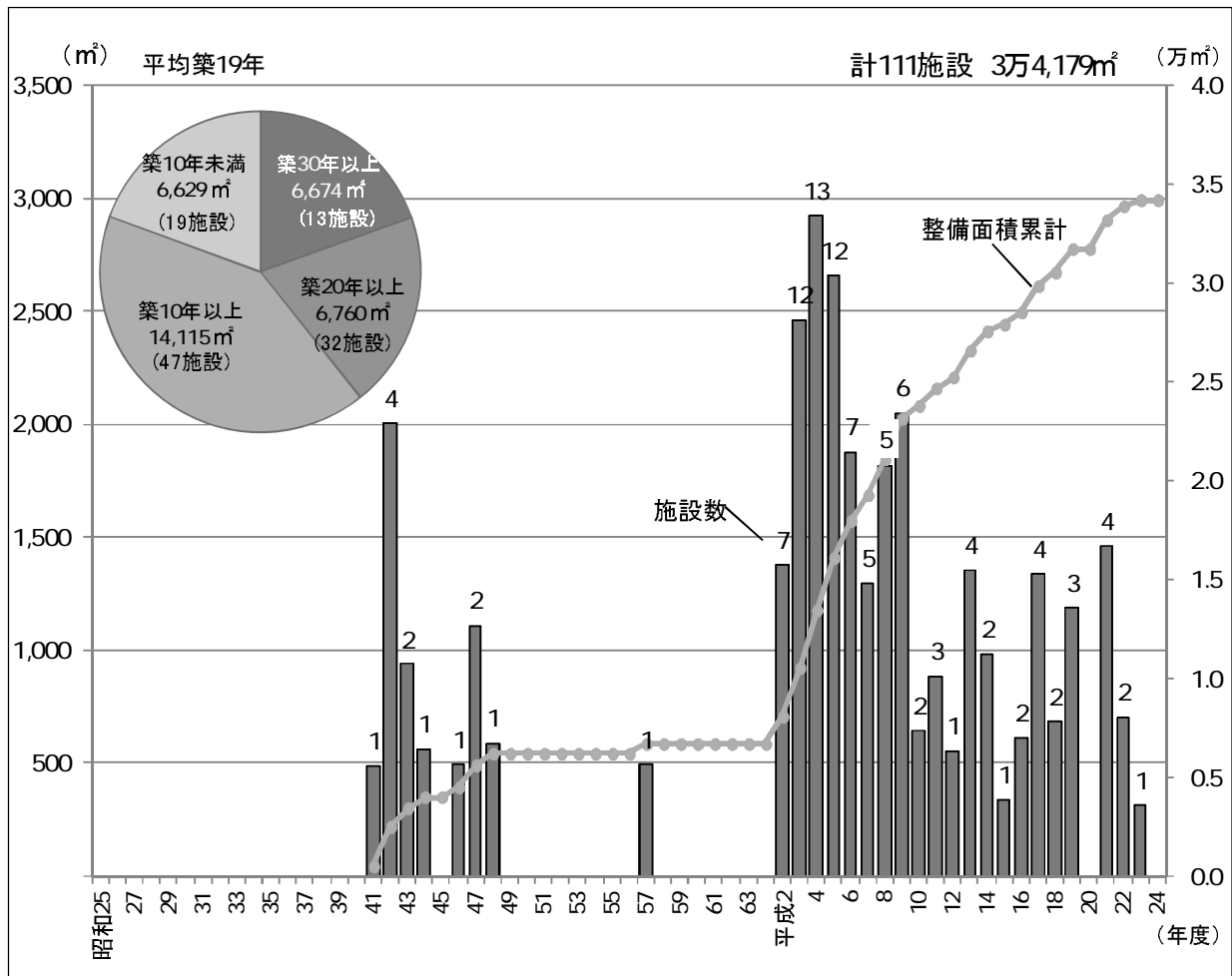


ウ 築年別整備状況（平均 築 19年）

コミュニティハウスは、市全体で 113 施設・3 万 4,769 m²整備されています。

施設全体の平均築年数は 19 年です。このうち学校施設活用型は、1990 年以降に整備が始まっています。

築 30 年以上経過した施設は、13 施設 6,674 m²（約 20%）ありますが、そのほとんどが「旧青少年図書館」などの施設を転換して整備されているものです。

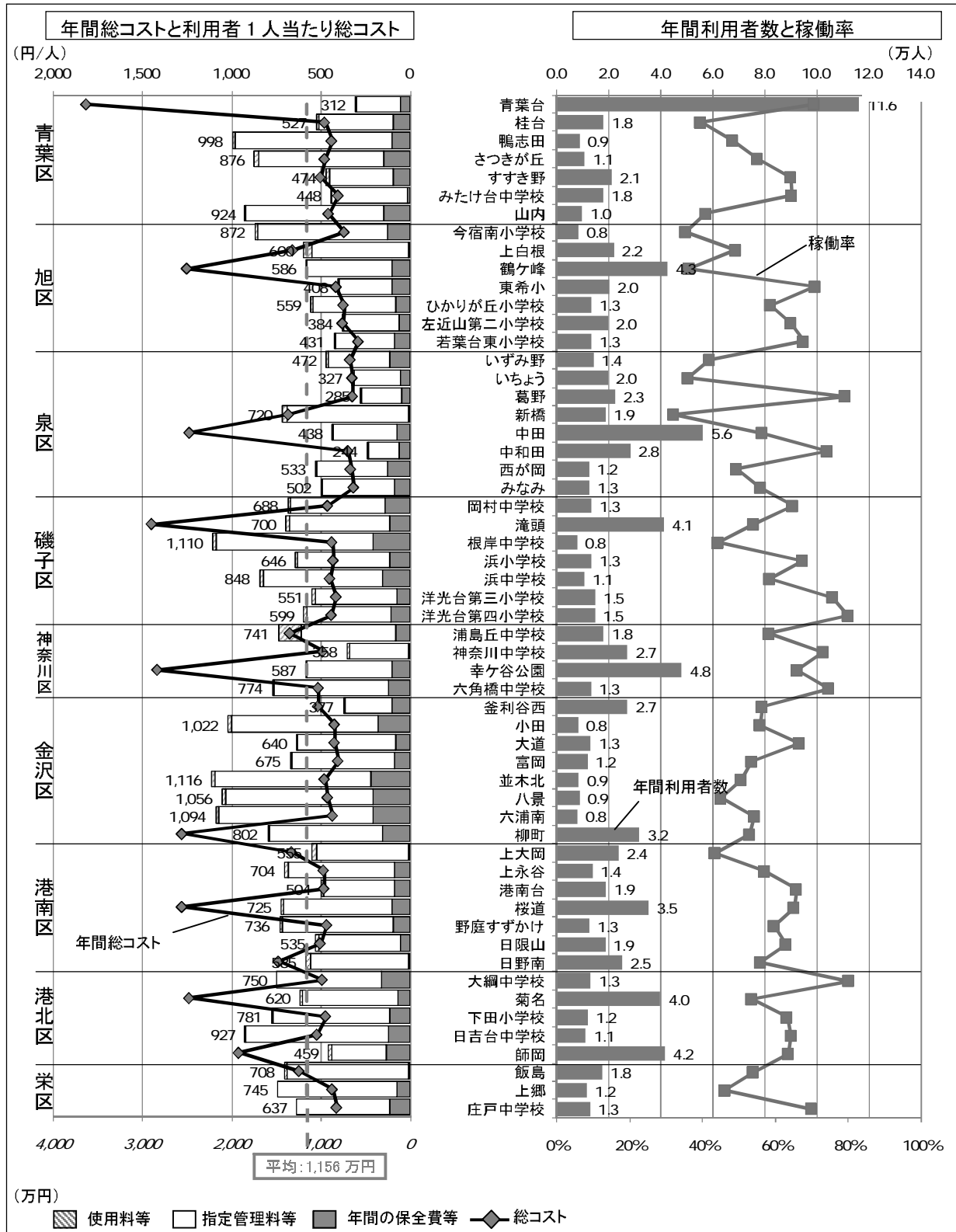


※「師岡コミュニティハウス、権太坂コミュニティハウス」は民間施設のため上記グラフからは除く

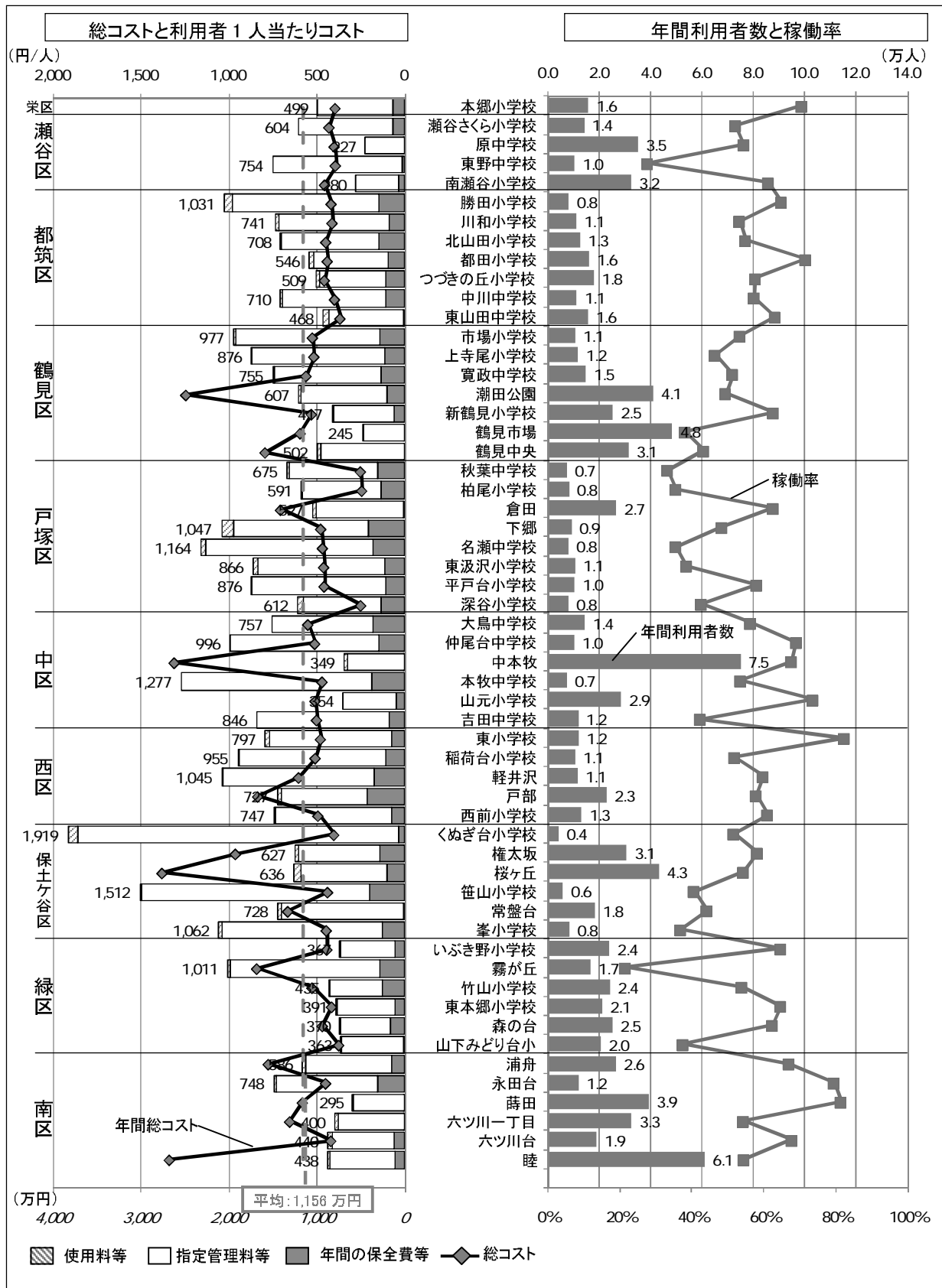
エ 利用状況とコスト状況

年間の利用者数としては青葉台コミュニティハウスが最も多く11万人を超えている一方で、1万人を下回る施設も見られます。同様に稼働率についても、約20~80%と施設により大きな差が生じています。

利用者1人当たりの総コストにおいても、約200~2,000円/人という状況です。



(10) コミュニティハウス



※ 「上大岡コミュニティハウス」「新橋コミュニティハウス」「常盤台コミュニティハウス」は H21 年度途中に開館のため、年間利用者数、稼働率とも H22、H23 年度の 2 か年平均を採用。

※ 「鶴見中央コミュニティハウス」「日野南コミュニティハウス」は H22 年度途中に開館のため、年間利用者数、稼働率とも H23 年度の値を採用。

※ 「別所コミュニティハウス」は H23 年度途中に開館のため、上記グラフからは除く。

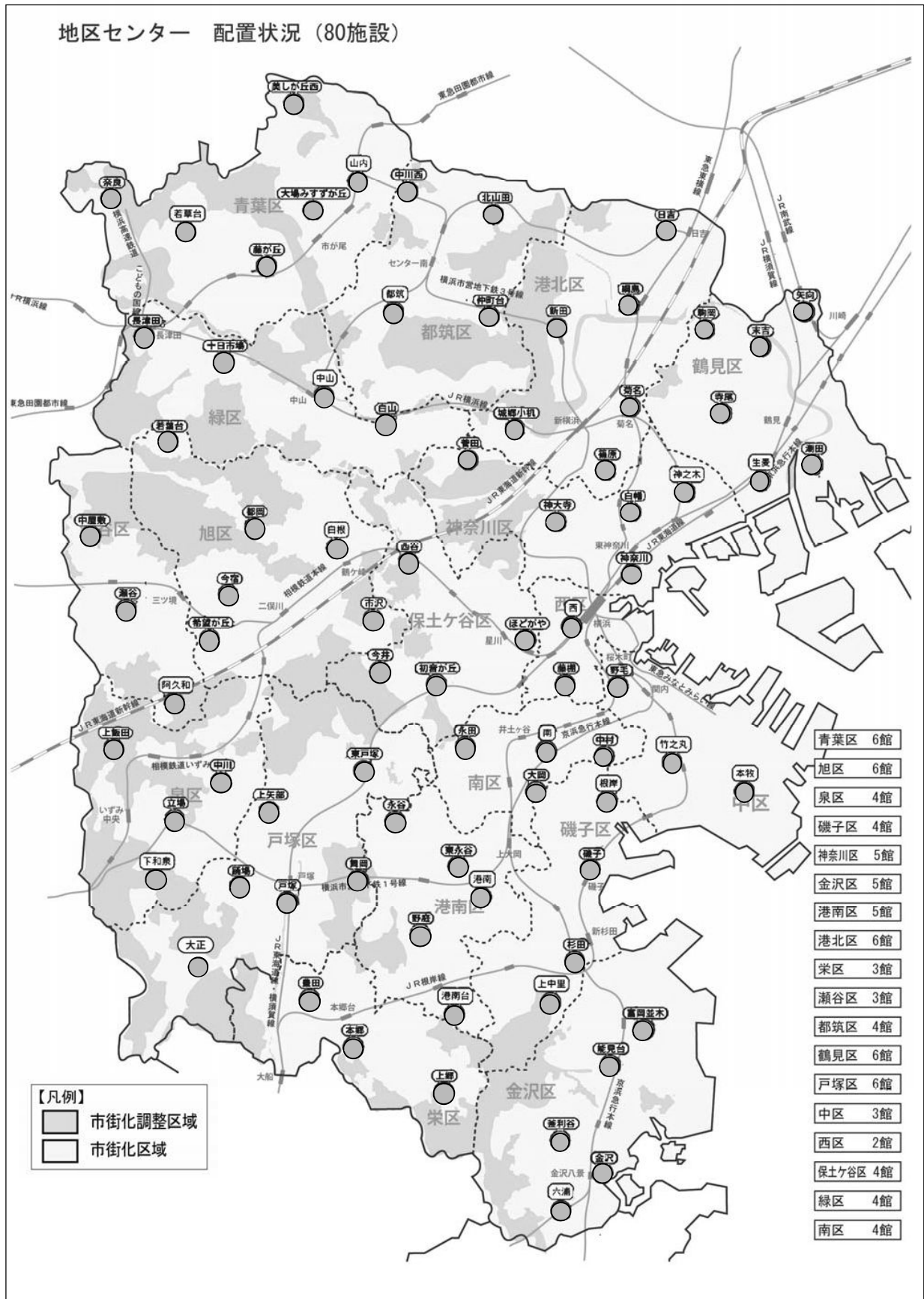
(11) 地区センター

ア 概要

地域の住民が自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、研修、サークル活動などを通じて相互交流を深めることを目的に、市内に 80 施設整備されています。
 地域住民の自主的な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成を図るため、幼児から高齢者までの幅広い市民が、誰でも気軽に利用できるように運営しています。

基本情報	施設数	80 施設	設置基準	日常利用圏
	平均規模	1,825 m ²	平均築年数	22 年
	施設利用料 (有料・無料)	有料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	会議室、和室、図書コーナー、 体育室、料理室、音楽室、 プレイルーム、等	設置根拠	横浜市地区センター条例
運営状況		合計	1施設当たり平均	
	年間総コスト	46億3,763万円	5,797万円/施設	
	年間利用者数	836万4,447人	10万4,556人/施設	
	年間稼働率	—	50.6%/施設	
	利用者1人 当たりコスト	554円/人・回 管理運営費(399円) 保全費(155円) 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者数は H21～H23 年度における総利用者数の 3 か年平均。 「西谷地区センター」は H23 年度休館のため、年間利用者数、稼働率とも H21、H22 年度の 2 か年平均。 南地区センターは老人福祉センター南寿荘との複合施設であり、2 施設合わせた指定管理契約のため、指定管理料等、使用料等は面積按分により算出。 			

イ 配置状況



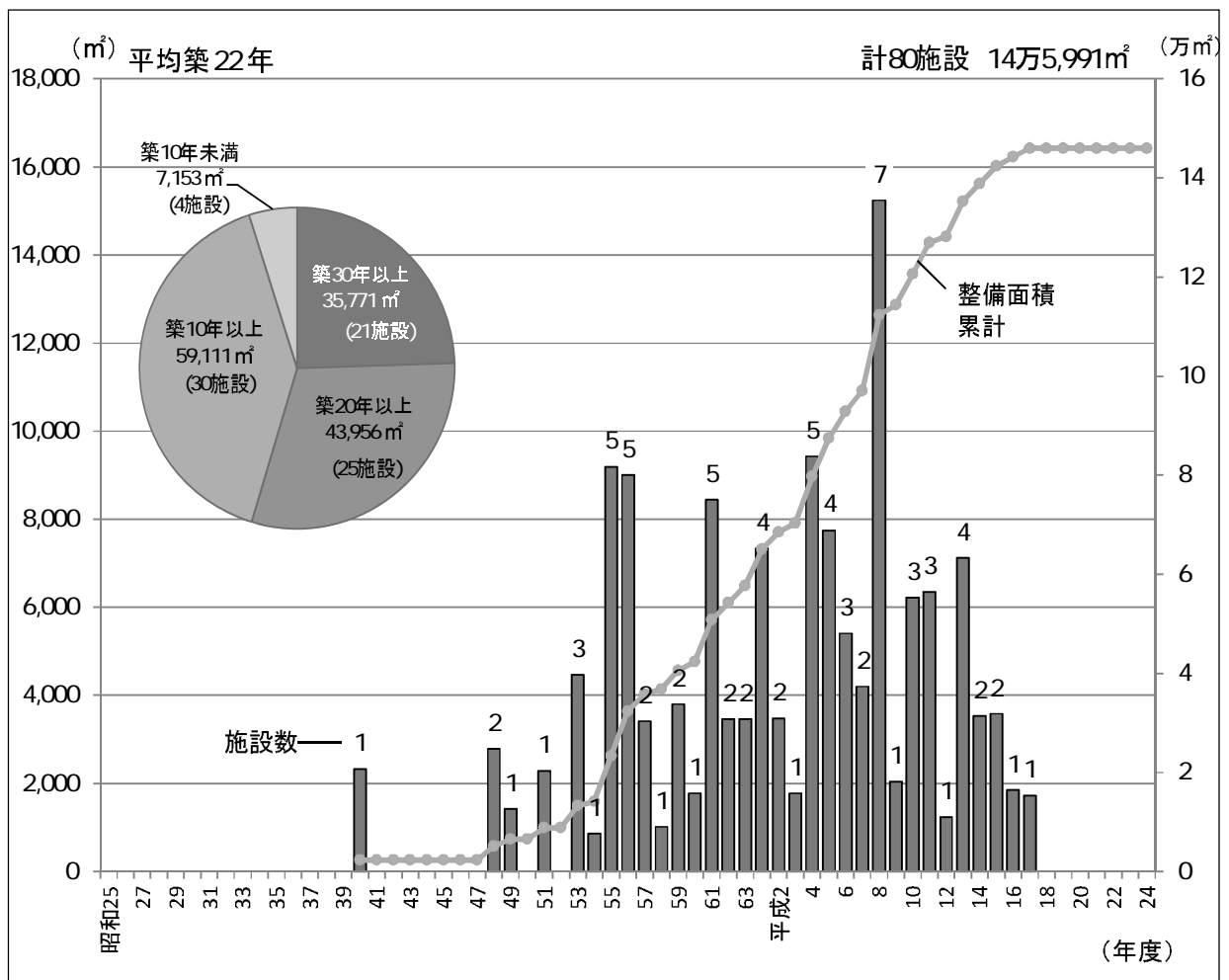
ウ 築年別整備状況（平均 築 22 年）

地区センターは、市全体で 80 施設・14 万 5,991 m²整備されています。特に、昭和 53 年から平成 17 年にかけては継続的に整備が行われてきました。

施設全体の平均築年数は、22 年です。

築 30 年以上経過した施設は、21 施設 3 万 5,771 m²（約 25%）あります。

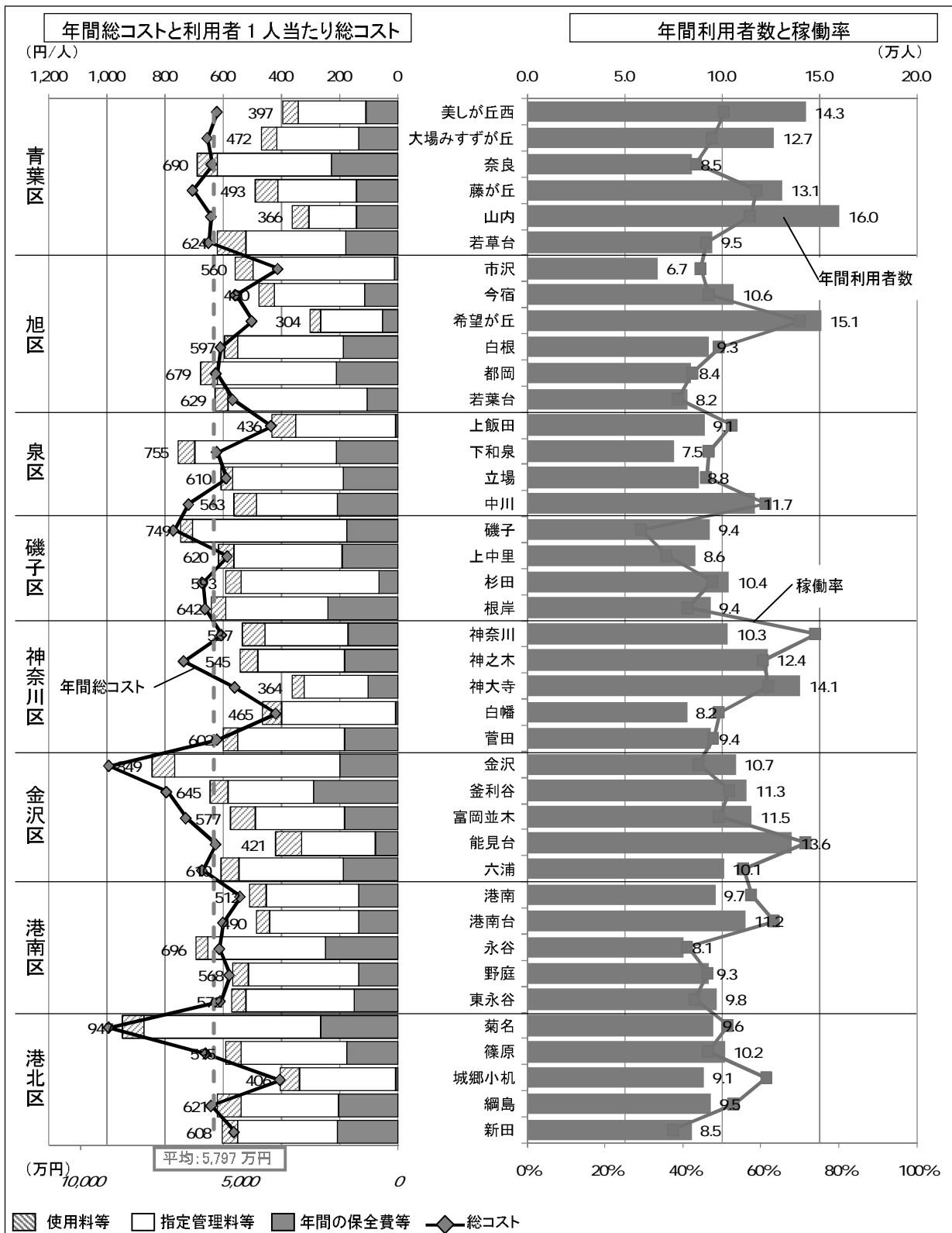
なお最も古い施設は、築 47 年を経過している中村地区センターですが、この施設は元々、「愛児センター」として整備された建物を転用して活用しているものです。

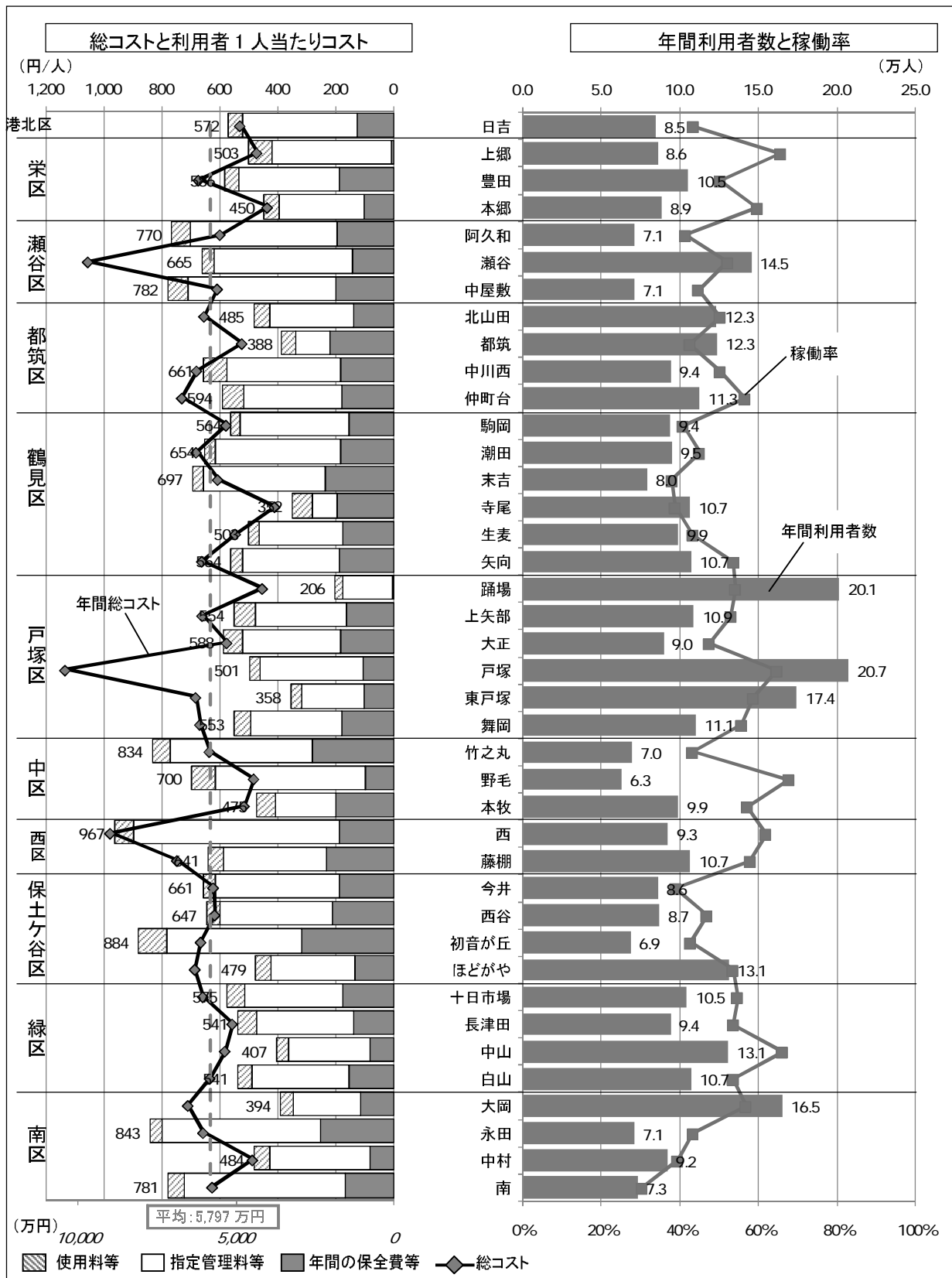


エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、20万人を超えている施設がある一方で、7万人を下回っている施設も数か所見られ、平均では年間約10万人の利用があります。稼働率についても、約30～80%の間で施設によるばらつきが見られ、平均では約50%の稼働状況です。

また、利用者1人当たり総コストは、約200～1000円/人となっており、施設によって約5倍の差が生じています。





※「南地区センター」は「老人福祉センター南寿荘」との複合施設であり、2施設合わせた指定管理契約のため、指定管理料等、使用料等は面積按分により算出。

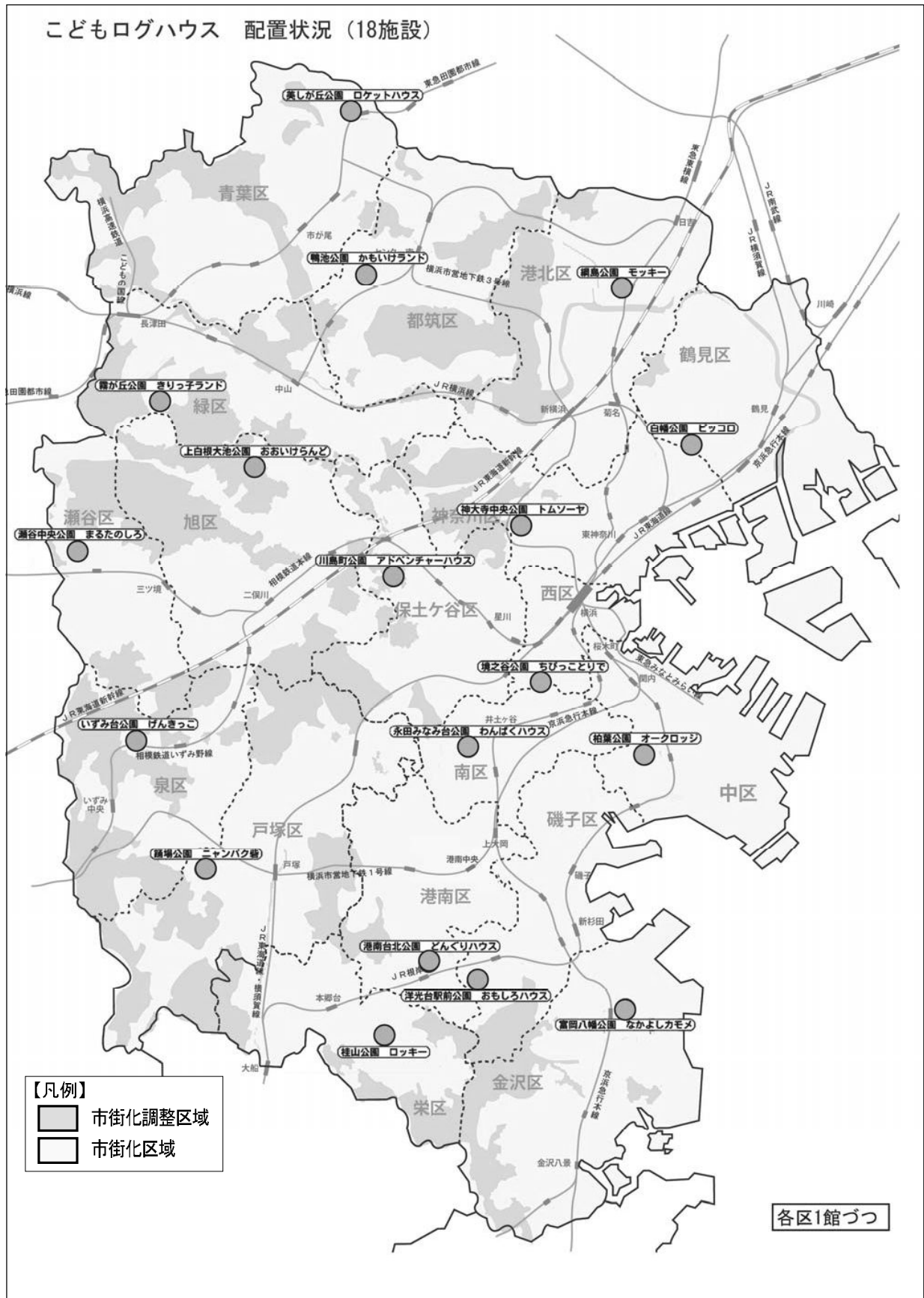
(12) こどもログハウス

ア 概要

子ども達が身近なところで木のぬくもりを感じながら、自由に集い遊ぶことのできる屋内公園施設で、子ども同士の遊びを通して屋外や家庭では体験できないような、創造力や表現力を育む魅力ある遊び場として市内に18施設（各区に1施設）整備されています。

基本情報	施設数	18 施設	設置基準	1区に1施設
	平均規模	266 m ²	平均築年数	21 年
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	活動スペース(遊び場)に螺旋滑り台やネット階段や登り棒等の遊具を設置	設置根拠	都市公園法
運営状況		合 計		1施設当たり平均
	年間総コスト	1億7,112万円		951万円/施設
	年間利用者数	76万4,399人		4万2,467人/施設
	年間稼働率	—		—
	利用者1人 当たりコスト	<div style="text-align: center;"> <p>224 円/人・回</p> <p>管理運営費(183円) 保全費(41円)</p> <p style="text-align: center;">税負担額</p> <p style="text-align: center;">指定管理料等 179円</p> <p style="text-align: center;">年間の保全費等 41円</p> <p style="text-align: left;">使用料等 4円</p> </div>		
備考	・年間利用者数はH21～H23年度における総利用者数の3か年平均。			

イ 配置状況

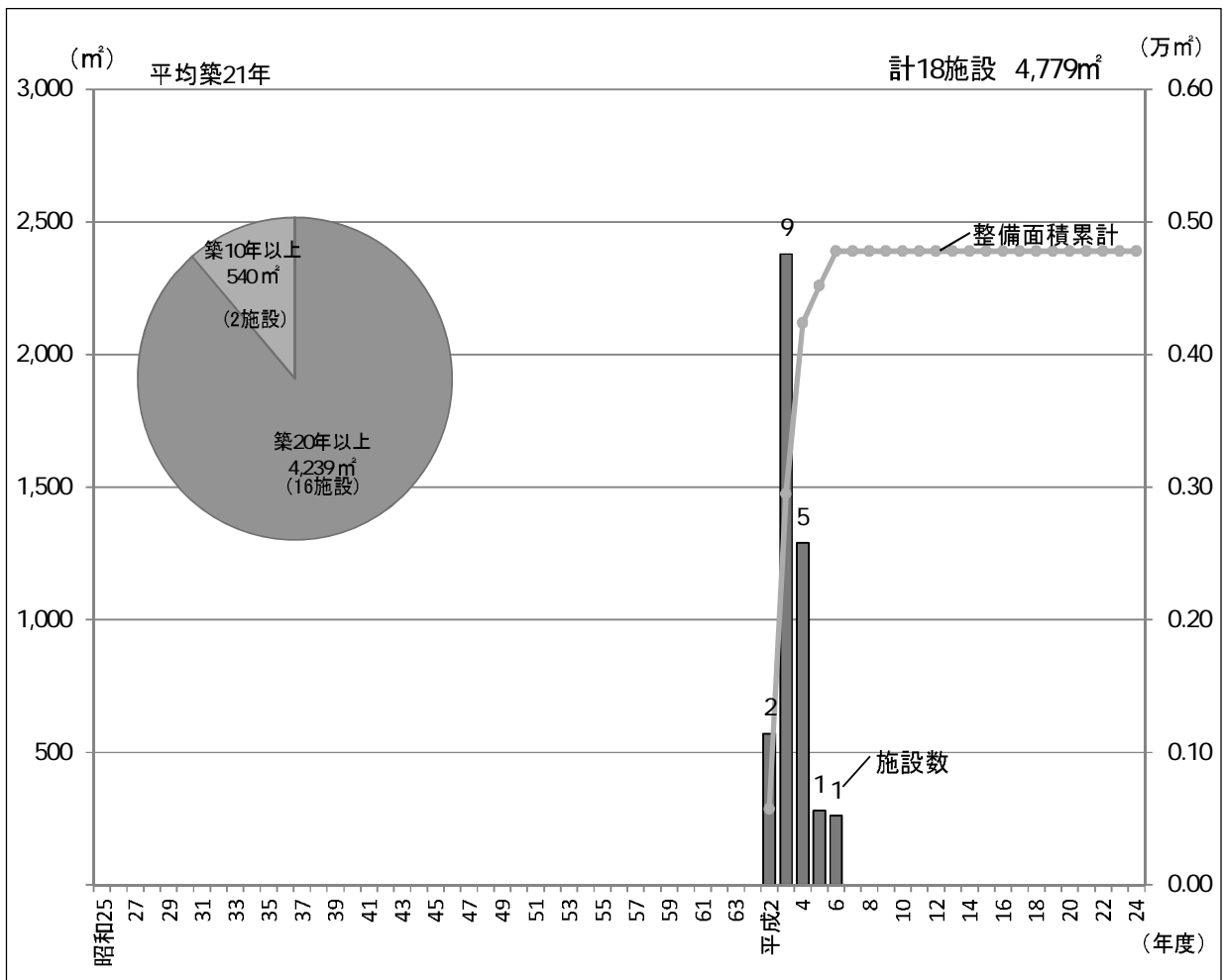


ウ 築年別整備状況（平均 築 21 年）

こどもログハウスは、市全体で 18 施設・4,779 m²整備されています。平成 2 年から平成 6 年にかけて集中的に整備されました。

施設全体の平均築年数は、21 年です。

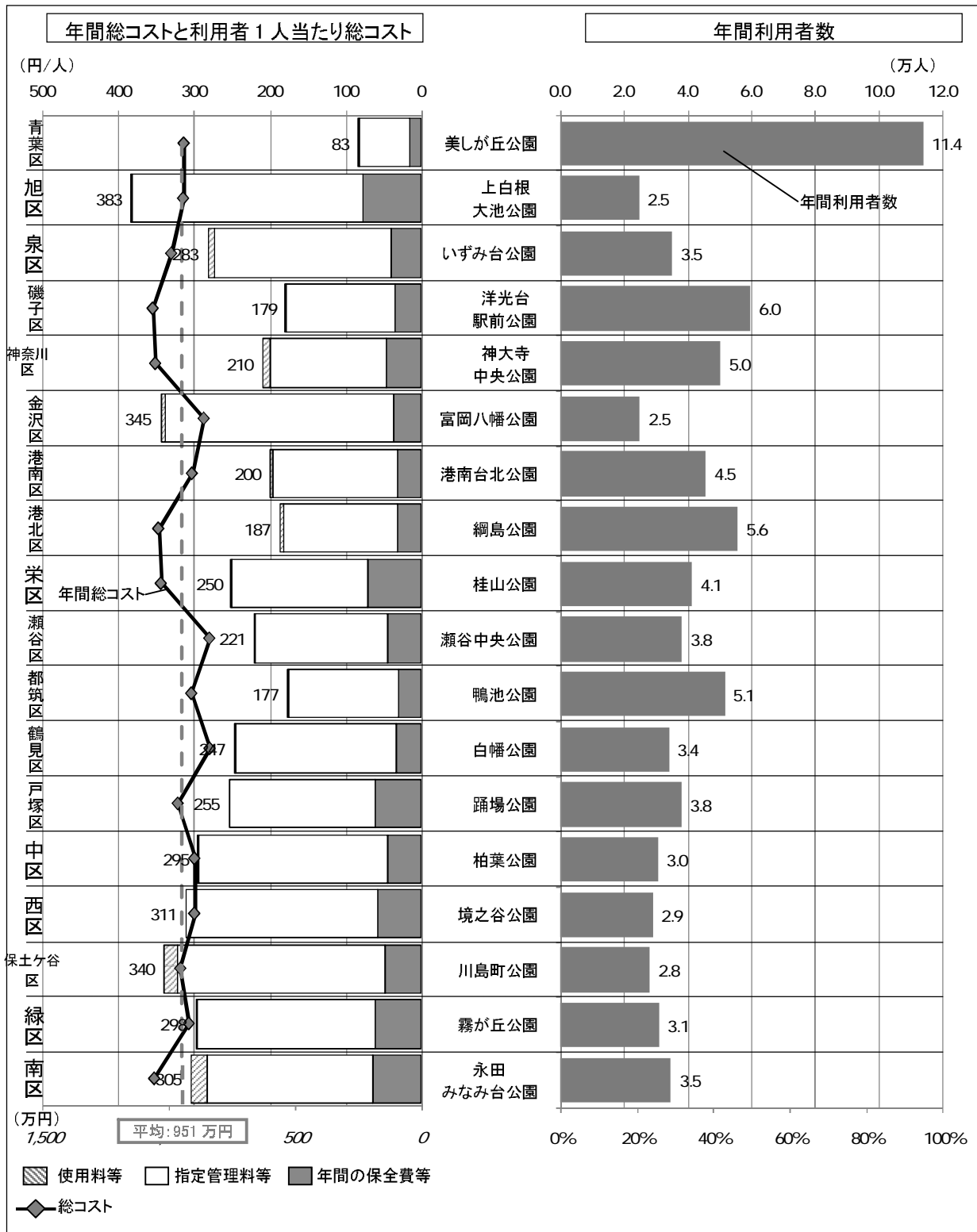
築 30 年以上経過した施設はなく、築 20 年以上経過した施設が 16 施設・4,239 m²（約 89%）となっています。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、美しが丘公園こどもログハウスが最も多く 11 万人を超えている一方で 3 万人を下回る施設も見られます。

利用者 1 人当たりの総コストでは、約 80～380 円/人となっており 4 倍以上の差が生じています。



(13) 集会所

ア 概要

<p>集会所は、地域の住民が自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、研修会、サークル活動などを通じて相互交流を深めることを目的に、市内に8施設整備されています。</p> <p>地域住民の自主的な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成を図るため、幼児から高齢者までの幅広い市民が、誰でも気軽に利用できるように運営しています。</p>				
基本情報	施設数	8 施設	設置基準	—
	平均規模	335 m ²	平均築年数	39 年
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者 (5施設) 無償貸付 (3施設)
	主な諸室	会議室	設置根拠	横浜市地区センター条例
運営状況		合 計		1施設当たり平均
	年間総コスト	6,270 万円		1,254 万円/施設
	年間利用者数	13万1,246 人 (13万8,576 人)		2万6,249 人 /施設 (1万9,797 人 /施設)
	年間稼働率	—		—
	利用者1人 当たりコスト	<p>477 円/人・回</p> <p>管理運営費(314円) 保険費(163円)</p> <p>税負担額</p> <p>使用料等 9円 指定管理料等 305円 年間の保険費等 163円</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「神之木公園集会所、平川町公園集会所」は無償貸付による施設のため、運営状況からは除く。ただし、年間利用者数については()内で当該施設を含んだ値を掲載。 ・「栄町公園集会所」は無償貸付による施設ですべてのデータが未把握のため、運営状況からは除く。 ・年間利用者数はH21～H23年度における総利用者数の3か年平均。 			

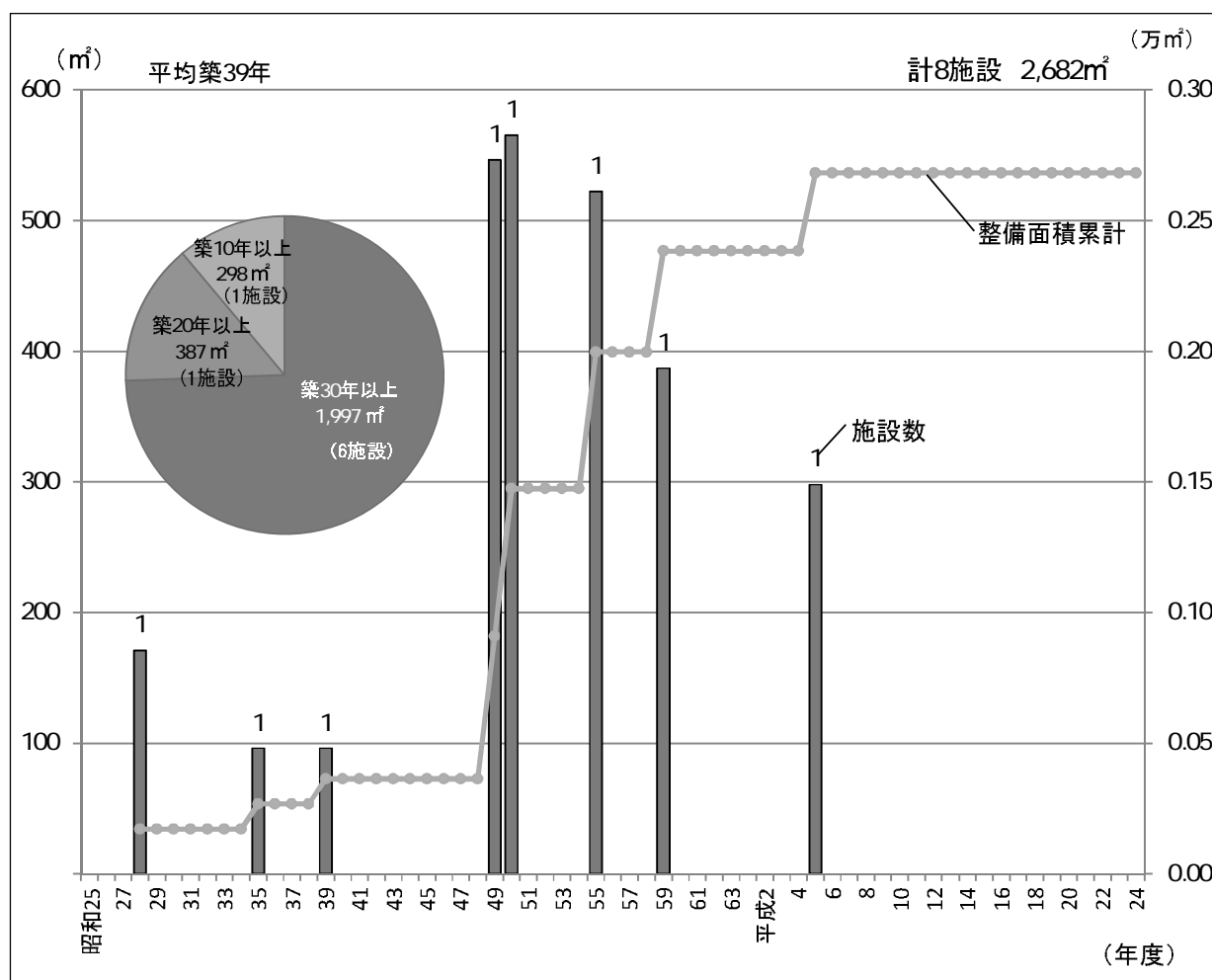
ウ 築年別整備状況（平均 築 39 年）

集会所は、市全体で 8 施設・2,682 m²整備されています。

施設全体の平均築年数は、39 年です。

築 30 年以上経過した施設は、6 施設 1,997 m²（約 74%）あります。

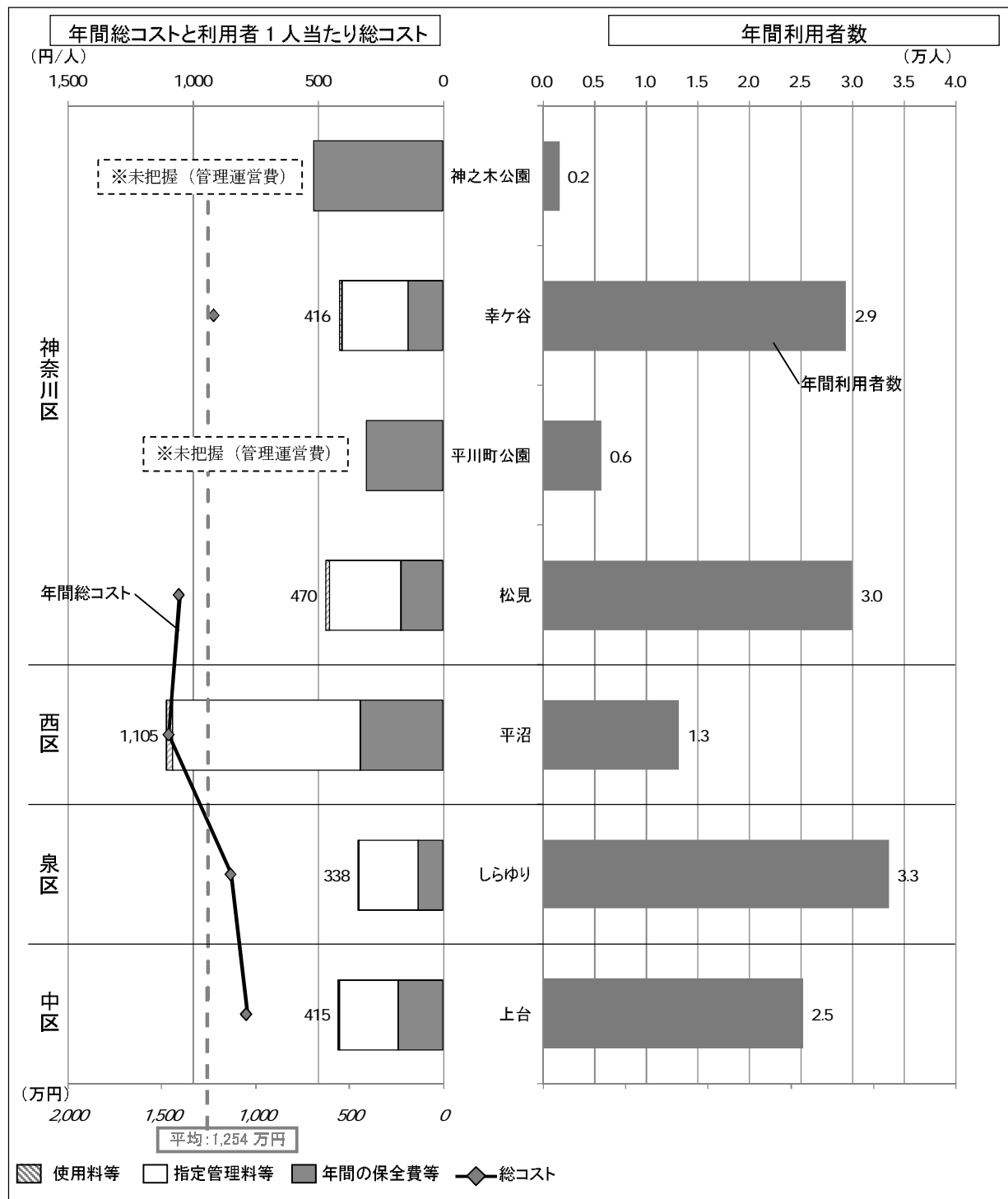
なお最も古い施設は、築 59 年を経過している平川町公園集会所ですが、この施設は、元々「青少年の家」として整備されたものを転用して活用しているものです。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、3万人を超えている施設がある一方で2000人前後の施設も見られます。

利用者1人当たりの総コストは、約340～1,100円/人となっています。



※「神之木公園集会所、平川町公園集会所」については運営費を把握していないため、本市で負担している保全費及び利用者数のみ記載。

※栄町公園集会所については、運営費及び利用者数を把握していないため上記グラフから除外。

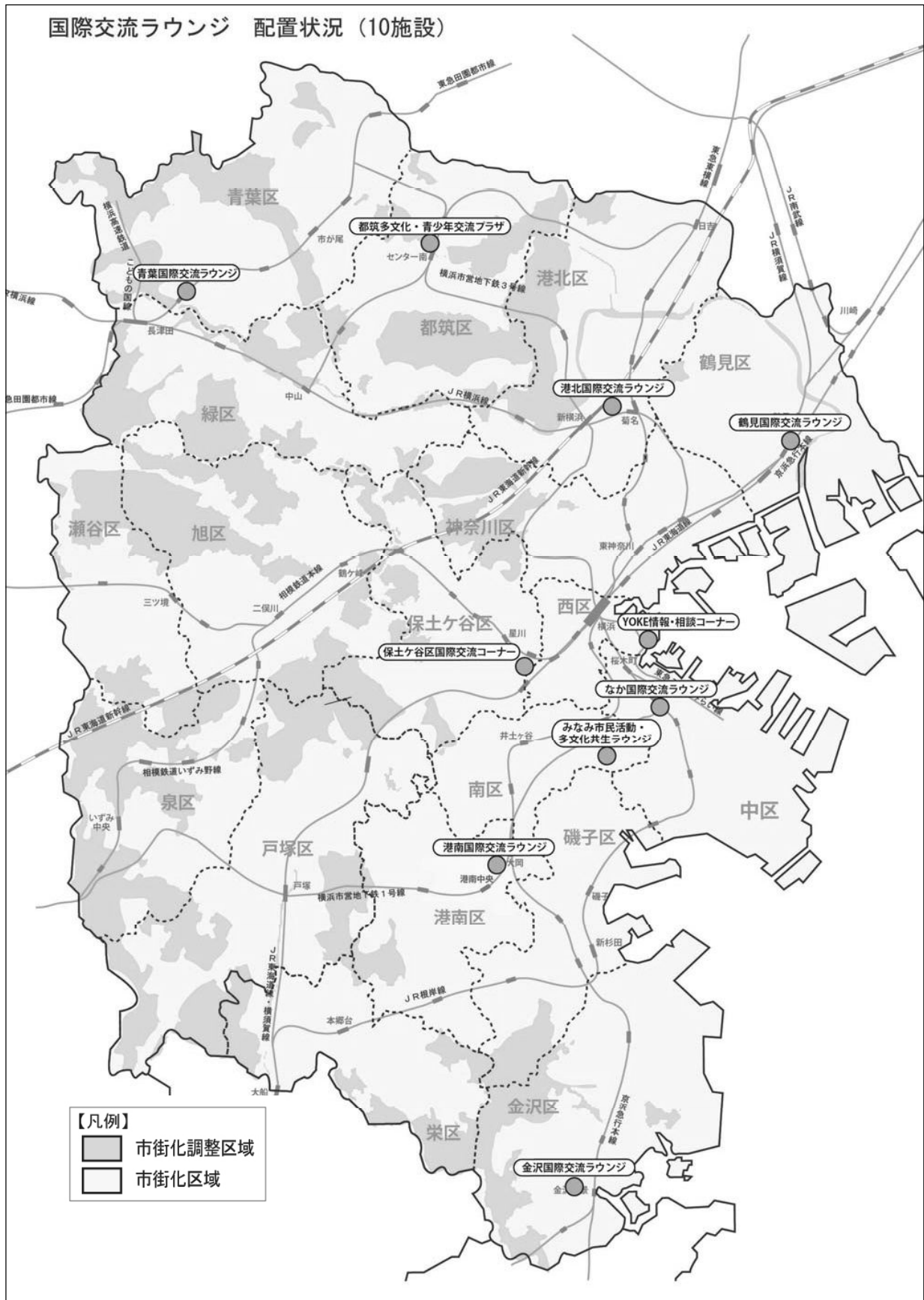
(14) 国際交流ラウンジ

ア 概要

国際交流ラウンジは、外国人市民のための生活情報提供、相談を多言語で実施するとともに、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動などを行っています。
市が設置し、運営には市民活動団体、NPO 法人、公益財団法人などがあたり、多くの市民ボランティアが協力しています。

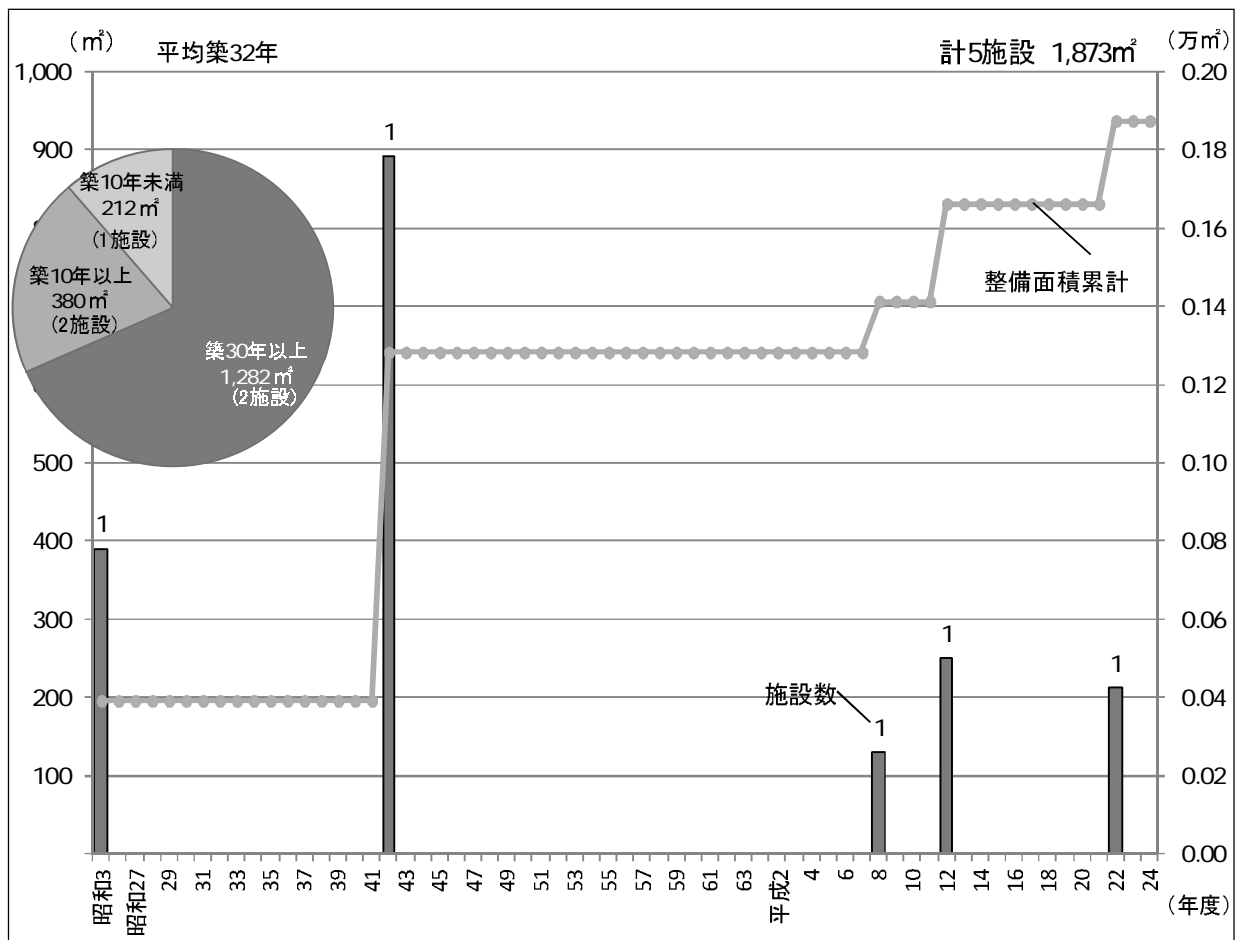
基本情報	施設数	7 施設 (10 施設)	設置基準	—
	平均規模	316 m ²	平均築年数	32 年
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	委託
	主な諸室	相談コーナー・会議室・ 研修室 等	設置根拠	横浜市国際交流ラウンジの設置 及び運営に関する指針
運営状況		合 計		1 施設当たり平均
	年間総コスト	1 億 1, 309 万円		1, 616 万円/施設
	年間利用者数 (相談件数)	1 万 2, 200 人		1, 743 人 /施設
	年間稼働率	—		—
	利用者 1 人 当たりコスト	9, 270 円/人・回		
		<p>管理運営費(8,784円) 保険費(486円)</p> <p>税負担額</p> <p>指定管理料等 8,784円 年間の保険費等 486円</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 平均規模は、施設面積が 50 m²以上の 7 施設の平均（「YOKE 情報・相談コーナー」「青葉国際交流ラウンジ」「保土ヶ谷区国際交流コーナー」は除く）。 平均築年数は、民間の建築物である「金沢国際交流ラウンジ」「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづき MY プラザ）」、及び施設面積が 50 m²以下の施設を除いた 5 施設の平均。 年間利用者数は H21～H23 年度における利用者数（相談件数）の 3 か年平均。 「鶴見国際交流ラウンジ」「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ」の利用者数（相談件数）は H22 年度途中に開館のため、H23 年度の値を掲載。 「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ」は、市民活動支援センターと国際交流ラウンジが一体の施設であり、両施設を合わせた委託を行っている。 「都筑多文化・青少年交流プラザ」は、国際交流ラウンジと青少年の地域活動拠点が一体の施設であり、両施設を合わせた委託を行っている。 			

イ 配置状況



ウ 築年別整備状況（平均 築32年）

国際交流ラウンジは、市全体で7施設※（50㎡未満を含めると10施設）ありますが、そのうち本市で所有している5施設の面積の合計は1,873㎡です。

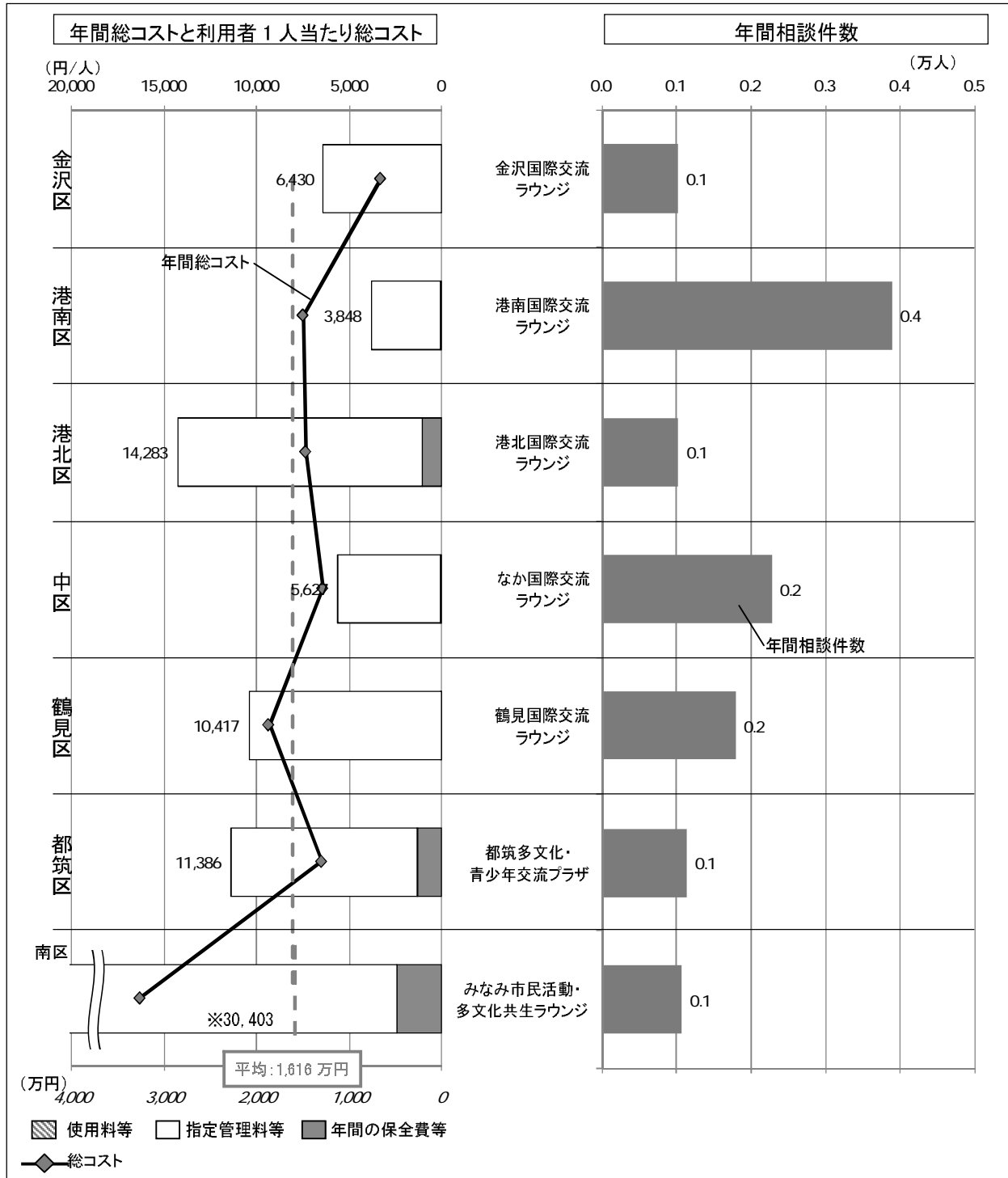


※施設面積が50㎡以下の「YOKE 情報・相談コーナー」「青葉国際交流ラウンジ」「保土ヶ谷区国際交流コーナー」は上記グラフから除く。

※「金沢国際交流ラウンジ」「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづき MY プラザ）」は民間施設のため上記グラフから除く。

エ 利用状況とコスト状況

7施設※平均して、年間で約1,600件の相談があります。



※施設面積が 50 m²以下の「YOKE 情報・相談コーナー」「青葉国際交流ラウンジ」「保土ヶ谷区国際交流コーナー」は上記グラフから除く。

※「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ」「都筑多文化・青少年交流プラザ」は、国際交流ラウンジ以外の機能を合わせた委託を行っているため、年間総コスト及び利用者1人当たり総コストは参考値。

(15) 老人憩いの家

ア 概要

<p>老人憩の家は、高齢者の心身の健康増進を図ることを目的に、教養の向上やレクリエーション等を行うための場として市内に4施設整備されています。</p>															
基本情報	施設数	4 施設	設置基準	—											
	平均規模	224㎡ (北方老人憩の家)	平均築年数	58年 (北方老人憩の家)											
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者(1施設) 委託(3施設)											
	主な諸室	和室 等	設置根拠	—											
運営状況		合 計		1施設当たり平均											
	年間総コスト	679万円		170万円/施設											
	年間利用者数	2万3,940人		5,985人/施設											
	年間稼働率	—		—											
	利用者1人 当たりコスト	<p>283円/人・回</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2">管理運営費(198円)</td> <td colspan="2">保険費(85円)</td> </tr> <tr> <td>使用料等 48円</td> <td colspan="2">税負担額</td> <td>年間の保険費等 85円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定管理料等 150円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			管理運営費(198円)		保険費(85円)		使用料等 48円	税負担額		年間の保険費等 85円		指定管理料等 150円	
管理運営費(198円)		保険費(85円)													
使用料等 48円	税負担額		年間の保険費等 85円												
	指定管理料等 150円														
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数はH21～H23年度における利用者数の3か年平均。 ・「金沢老人憩の家、港北老人憩の家、佐江戸老人憩の家」については民間施設のため施設情報(築年数、延床面積)は未把握。 ・「金沢老人憩の家」「港北老人憩の家」は指定管理費又は委託料に施設の賃料を含む。 ・平均築年数は施設情報を把握できている「北方老人憩の家」を掲載。 														

イ 配置状況

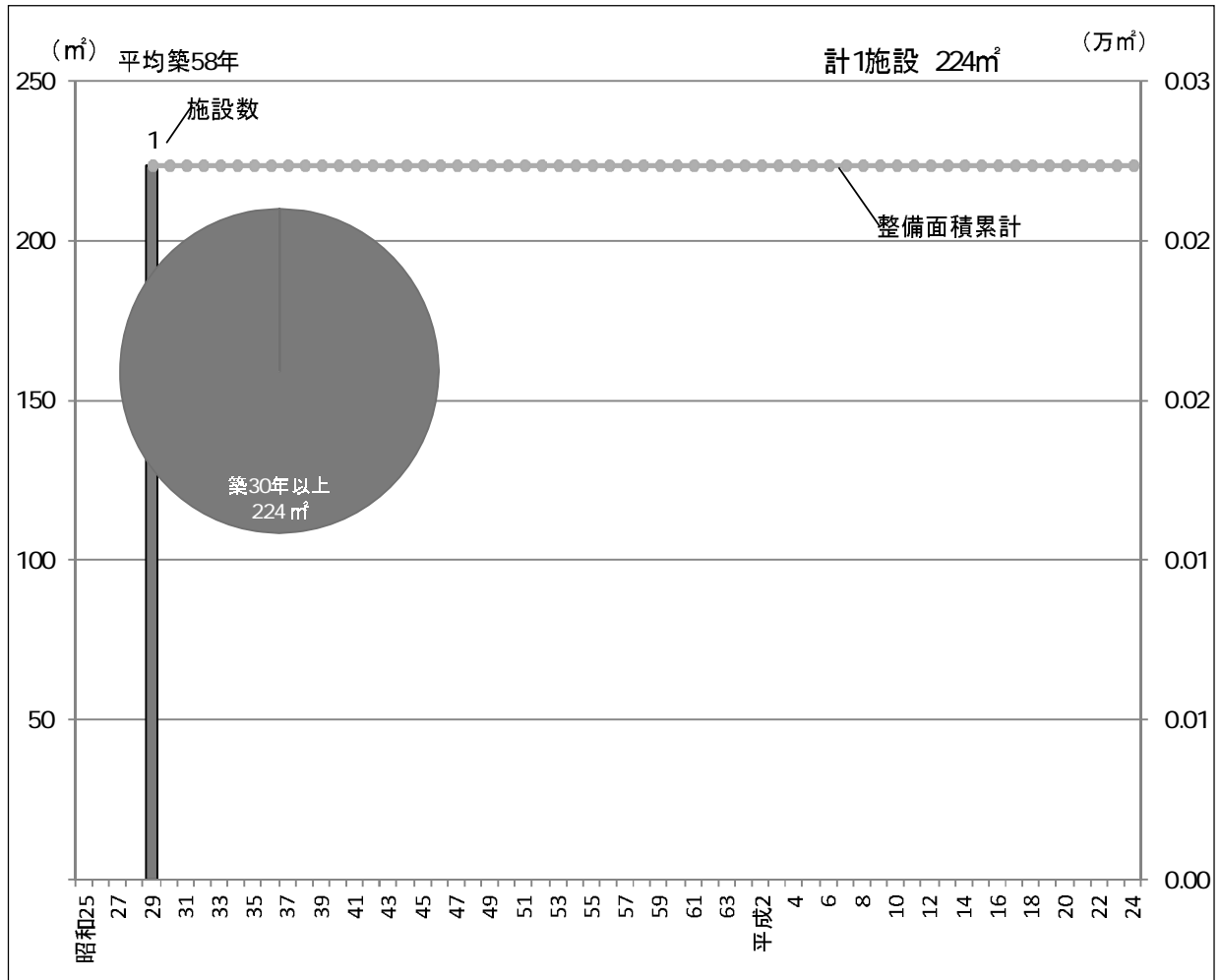


ウ 築年別整備状況

老人憩の家は、市全体で4施設整備されています。

4施設のうち3施設は民間施設を賃貸している施設のため、施設情報（築年数、延床面積）を把握できていません。

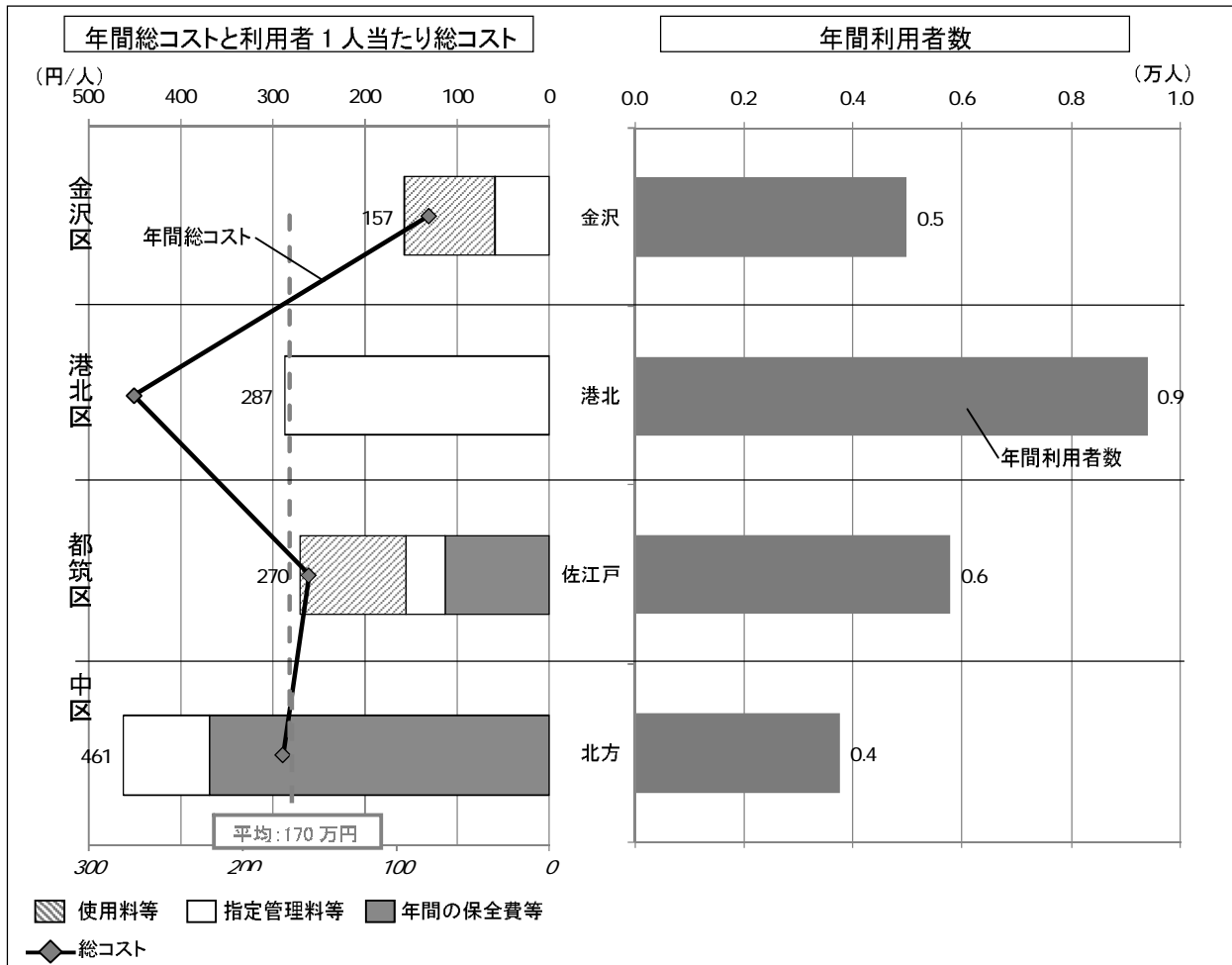
北方老人憩の家は本市の所有施設であり、築30年以上経過しています。



※上図には施設情報を把握できている「北方老人憩の家」のみを記載。

工 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、約0.4万～0.9万人となっています。



(16) スポーツセンター

ア 概要

<p>スポーツセンターは、スポーツ、レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、市内に18施設整備されています。</p>														
基本情報	施設数	18 施設	設置基準	1 区に1施設										
	平均規模	3,934 m ²	平均築年数	23 年										
	施設利用料 (有料・無料)	有 料	管理形態	指定管理者										
	主な諸室	第一体育室、第二体育室、 第三体育室、研修室、 トレーニングルーム等	設置根拠	横浜市スポーツ施設条例										
運営状況		合 計		1施設当たり平均										
	年間総コスト	27億5,483 万円		1億5,305 万円/施設										
	年間利用者数	480万8,492 人		26万7,138 人 /施設										
	年間稼働率	—		87.7 % /施設										
	利用者1人 当たりコスト	<p>573 円/人・回</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2">管理運営費(448円)</td> <td colspan="2">保険費(125円)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">使用料等 280円</td> <td colspan="3">税負担額</td> </tr> <tr> <td>指定管理料等 168円</td> <td colspan="2">年間の保険費等 125円</td> </tr> </table>			管理運営費(448円)		保険費(125円)		使用料等 280円	税負担額			指定管理料等 168円	年間の保険費等 125円
管理運営費(448円)		保険費(125円)												
使用料等 280円	税負担額													
	指定管理料等 168円	年間の保険費等 125円												
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数はH21～H23年度における総利用者数の3か年平均。 ・「栄スポーツセンター」は「栄公会堂」との複合施設であり、2施設をまとめた指定管理契約となっているため、管理運営費（使用料等、指定管理料等）は面積按分により算出。 ・「西スポーツセンター」には屋内プールを含む。 ・「戸塚スポーツセンター」「泉スポーツセンター」には弓道場を含む。 													

ウ 築年別整備状況（平均 築 23 年）

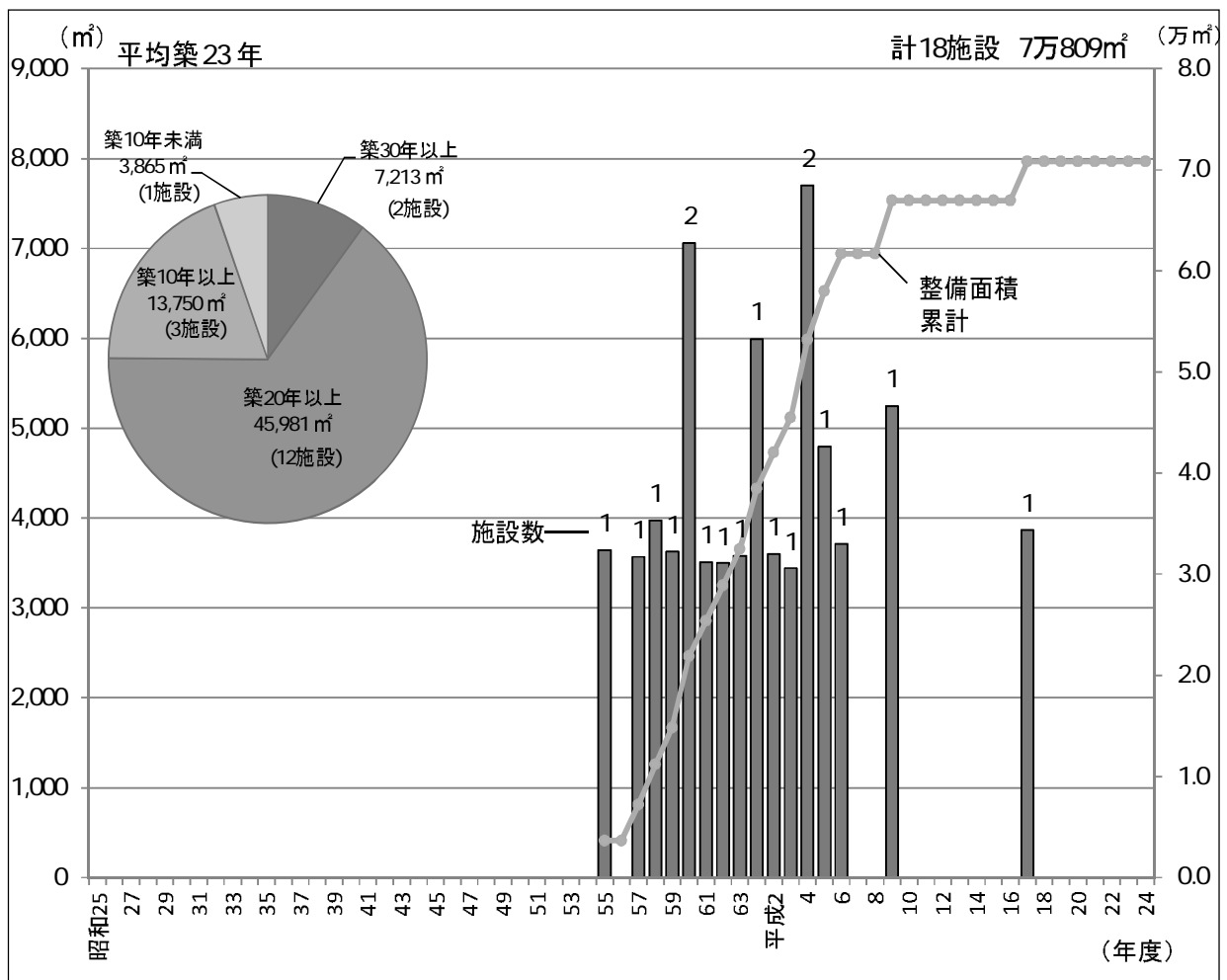
スポーツセンターは、市全体で 18 施設・7 万 809 m²整備されており、整備計画に沿った整備は完了しています。

特に、昭和 57 年から平成 6 年にかけては継続的に整備が行われてきました。

施設全体の平均築年数は、23 年です。

築 30 年以上経過した施設は、2 施設 7,213 m²（約 10%）あります。

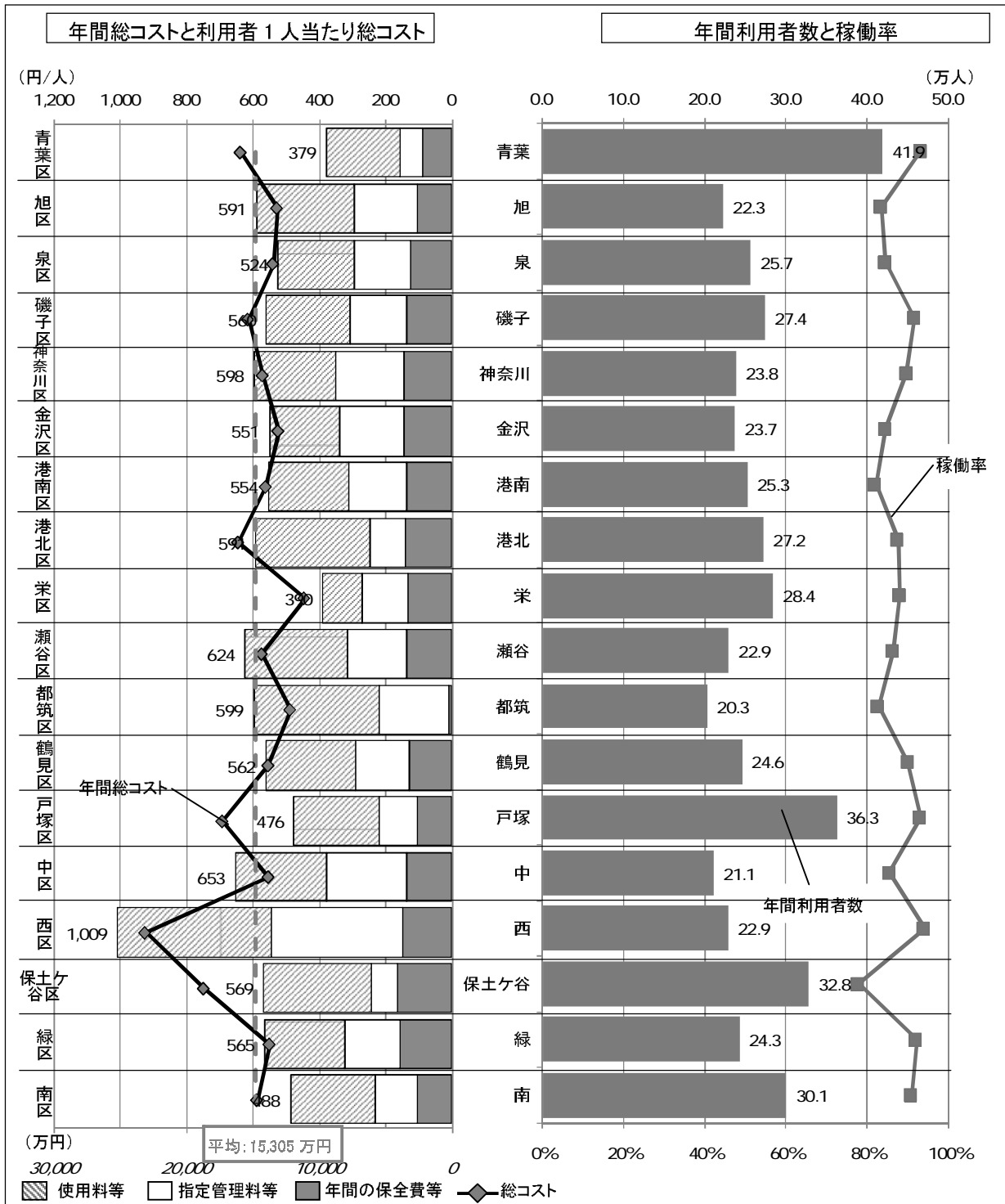
なお最も古い施設は、港南スポーツセンターで築 32 年を経過しています。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、約20万人から40万人を超えている施設もあり、平均では約27万人の利用があります。稼働率についても、多くの施設が80%を超えており、中には90%を超えている施設も見られ、非常に高い稼働状況であることが分かります。

また、利用者1人当たりのコストは、約400～1,000円/人となっており、施設によって約2.5倍の差があります。



※栄スポーツセンターは栄公会堂との複合施設であり、2施設合わせた指定管理契約のため、指定管理料等、使用料等は、面積按分により算出。

(17) スポーツ会館

ア 概要

地域の住民が自らの生活環境の向上のために 自主的に活動し、スポーツ、レクリエーションなどを通じて相互交流を深めることを目的に、地域における区民の集会等、幅広い層の市民が気軽に利用できる施設として市内に 11 施設設置されています。

基本情報	施設数	11 施設	設置基準	—
	平均規模	435 m ²	平均築年数	30 年
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	体育室、会議室等	設置根拠	横浜市地区センター条例
運営状況		合 計		1 施設当たり平均
	年間総コスト	1 億 1, 536 万円		1, 049 万円/施設
	年間利用者数	21万2, 976 人		1万9, 361 人 /施設
	年間稼働率	—		—
	利用者 1 人 当たりコスト	542 円/人・回 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数は H21～H23 年度における総利用者数の 3 か年平均。 ・「下野庭スポーツ会館」は改修工事で H21 年度途中に開館のため、H22～H23 年度における総利用者数の 2 か年平均。 			

イ 配置状況

スポーツ会館 配置状況 (11施設)

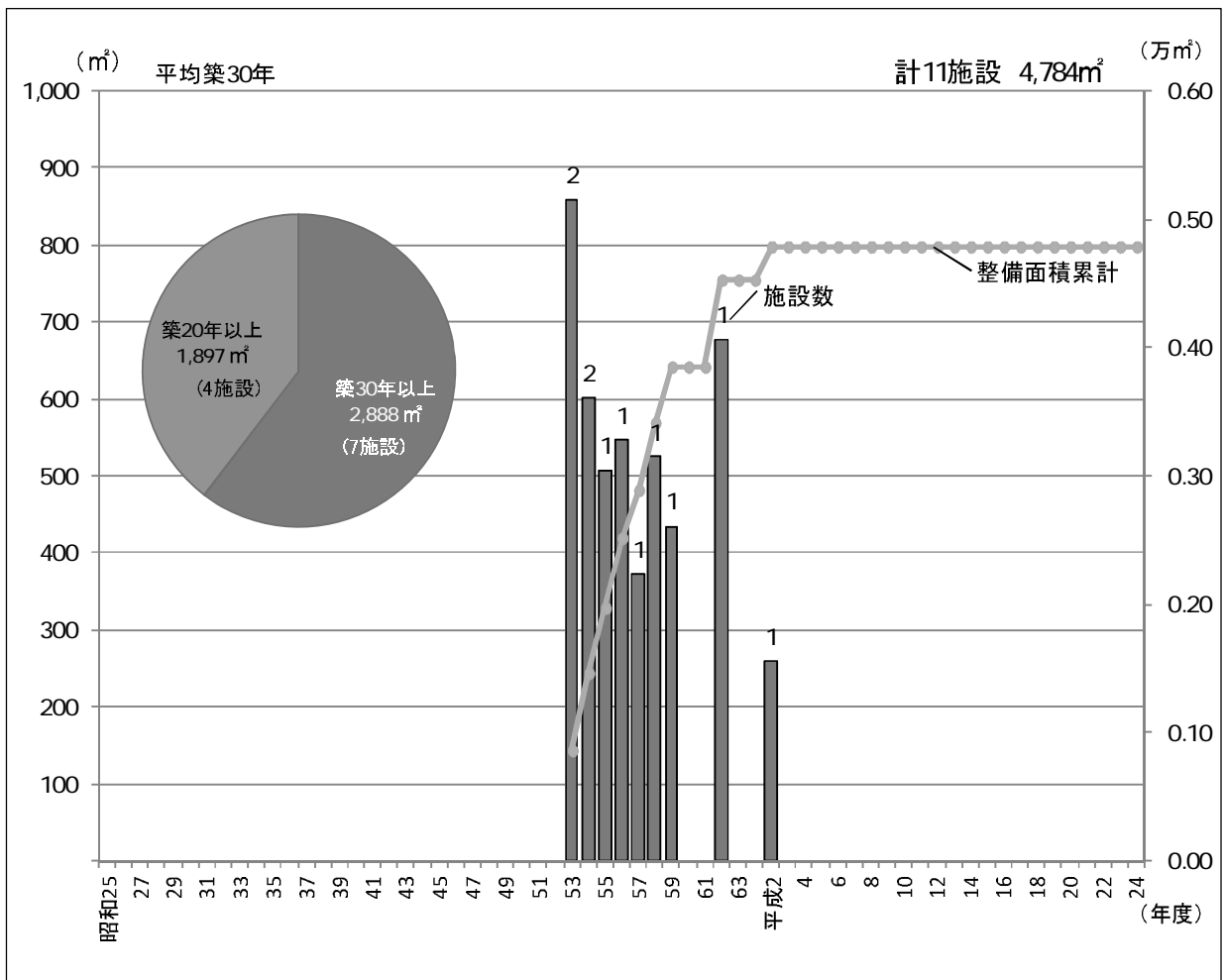


ウ 築年別整備状況（平均 築 30 年）

スポーツ会館は、市全体で 11 施設・4,784 m²整備されております。特に昭和 50 年代に多く整備されてきました。

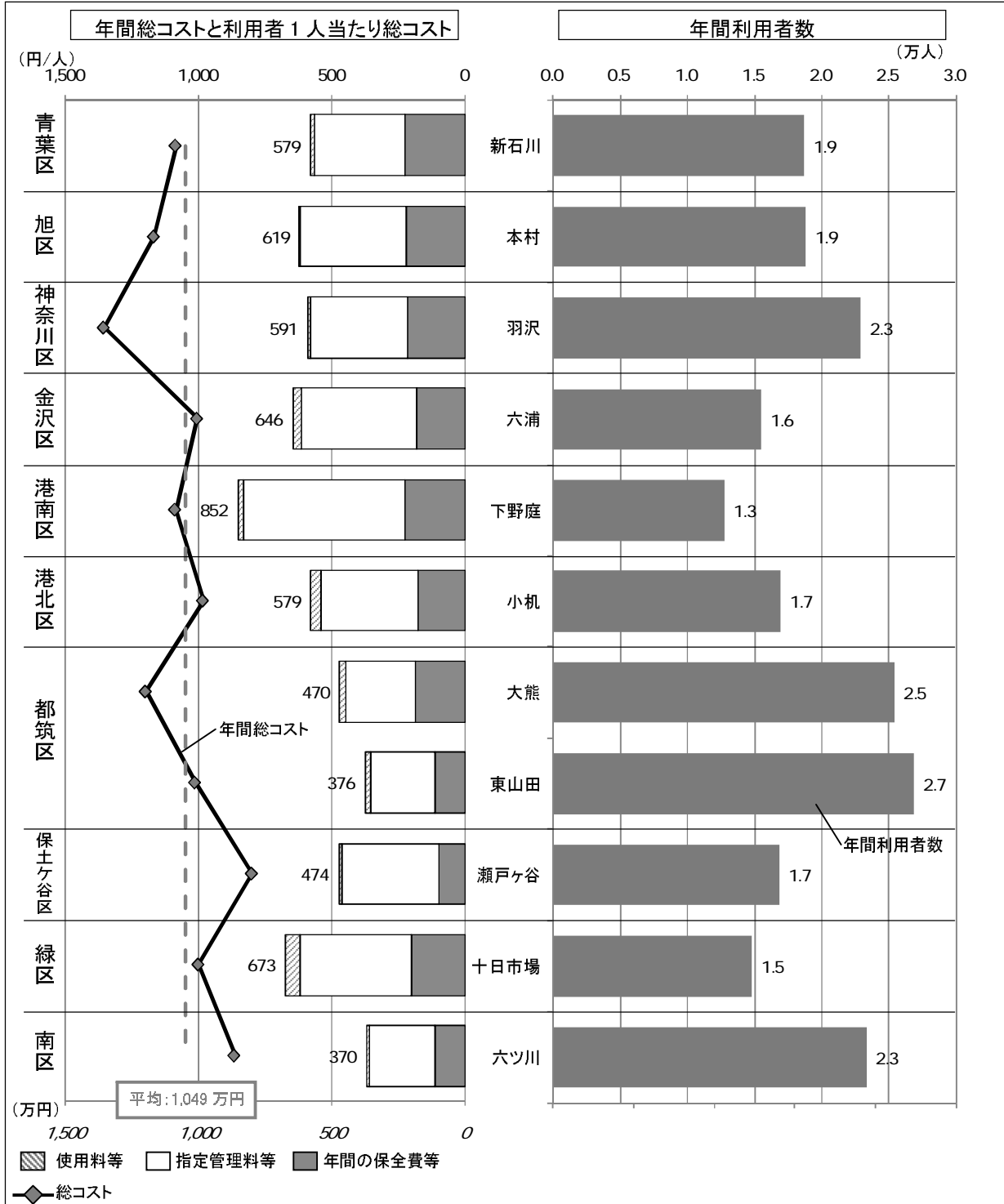
施設全体の平均築年数は、30 年です。

築 30 年以上経過した施設は、7 施設 2,888 m²と全体の約 60%を占めており、さらにその他 4 施設も築 20 年以上経過しており、全体的に老朽化が進んでいます。



工 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、概ね2万人前後の利用があります。また利用者1人当たり総コストについては概ね500円/人前後となっています。



※「下野庭スポーツ会館」は改修工事でH21年度途中に開館のため、H22～H23年度における総利用者数の2か年平均。

(18) 屋内プール

ア 概要

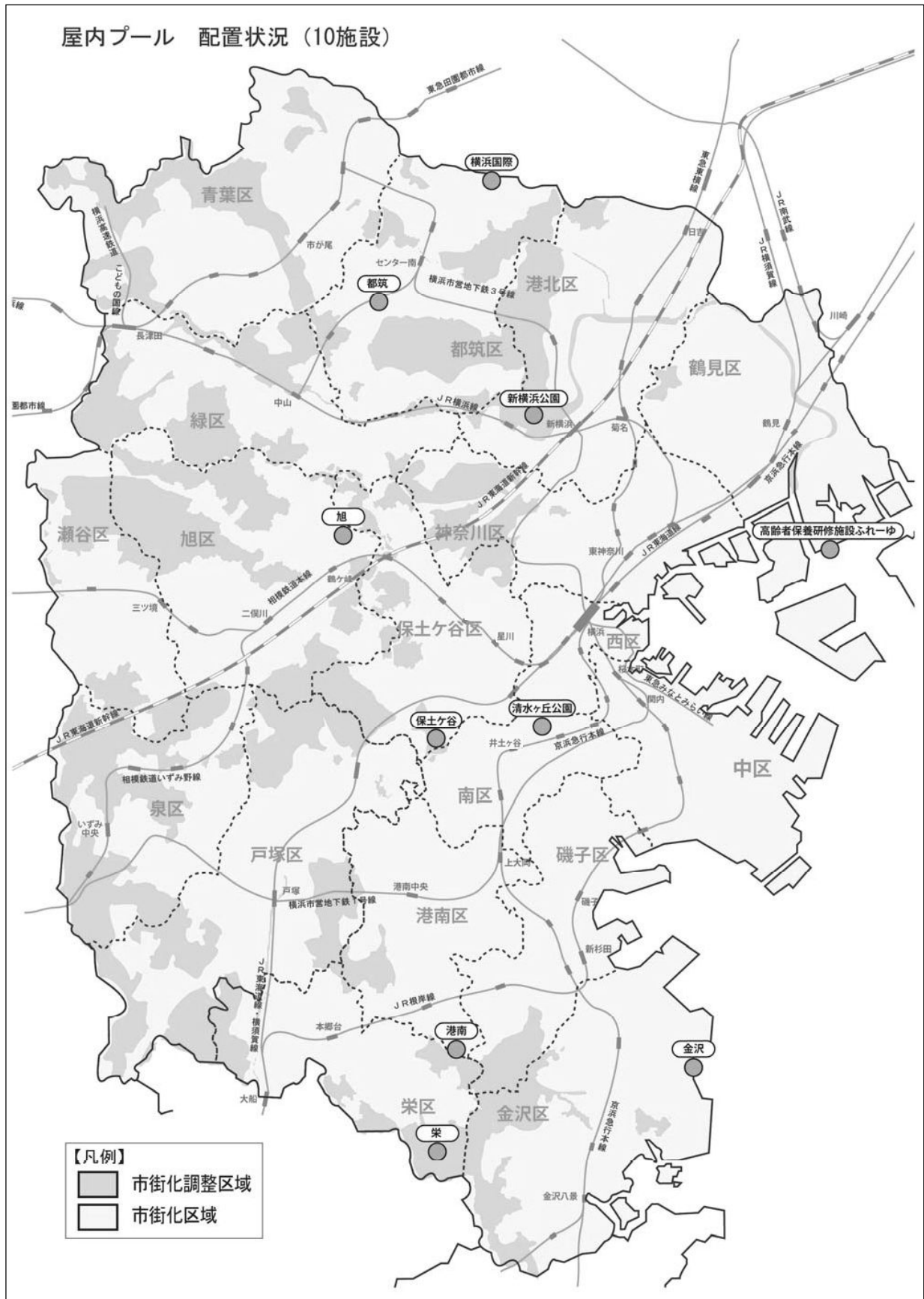
余熱・旧余熱プールは市内に6施設あり、ごみ焼却工場の建設に伴う近隣住民への地元還元施設として整備されてきましたが、栄・港南工場は平成18年度には廃止されており、旧余熱プール(栄プール・港南プール)は、現在は地元還元施設でなくスポーツ振興に寄与する施設として運営されています。

その他屋内プールのうち、公園内に設置されているプールは市内に2施設あり、都市公園法及び横浜市公園条例に基づく、公共の福祉の増進を目的としています。

それ以外のその他屋内プールは市民のスポーツ振興や健康増進等を目的として設置しており、市内に2施設あります。

基本情報	施設数	10 施設	設置基準	—												
	平均規模 (水面積)	7,155 m ² (横浜国際プール: 35,877 m ²) (その他 : 3,567 m ²)	平均築年数	25 年												
	施設利用料 (有料・無料)	有 料	管理形態	指定管理者 (4 施設) 無償貸付 (6 施設)												
	主な諸室	プール、児童プール、幼児プール、採暖室、更衣室等 (施設規模によって、ダイビングプール、浴場、トレーニングルーム等が整備)	設置根拠	都市公園法及び横浜市公園条例 横浜市スポーツ施設条例 横浜市高齢者保養研修施設条例												
運営状況		合 計	1 施設当たり平均													
	年間総コスト	25億 472 万円	2億5,047 万円/施設													
	年間利用者数	165万4,013 人	16万5,401 人 /施設													
	年間利用率	—	31.5 人/m ² (水面積) /施設													
	利用者1人 当たりコスト	1,513 円/人・回 管理運営費(1,046円) 保全費(467円) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">管理運営費(1,046円)</td> <td colspan="2">保全費(467円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">税負担額</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>使用料等 611円</td> <td>その他 10円</td> <td>指定管理料等 425円</td> <td>年間の保全費等 467円</td> </tr> </table>				管理運営費(1,046円)		保全費(467円)		税負担額				使用料等 611円	その他 10円	指定管理料等 425円
管理運営費(1,046円)		保全費(467円)														
税負担額																
使用料等 611円	その他 10円	指定管理料等 425円	年間の保全費等 467円													
備考	・年間利用者数はH21～H23年度におけるプール利用者数の3か年平均															

イ 配置状況

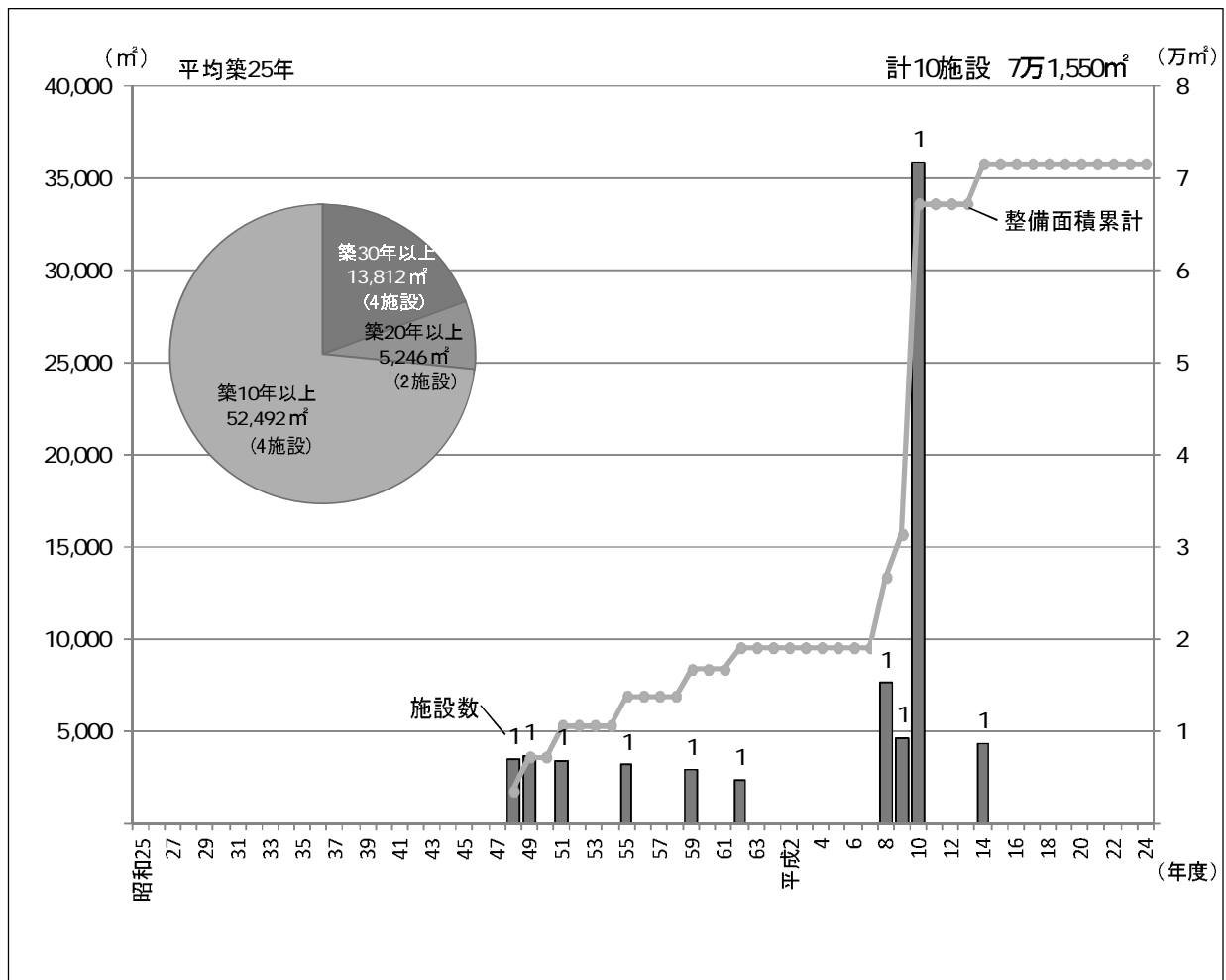


ウ 築年別整備状況（平均 築 25 年）

屋内プールは、市全体で 10 施設・7 万 1,550 m²（水面積）整備されています。昭和 40 年代後半から整備が始まりました。最も規模の大きい施設は横浜国際プールで 35,877 m²（水面積）あります。

施設全体の平均築年数は、25 年です。

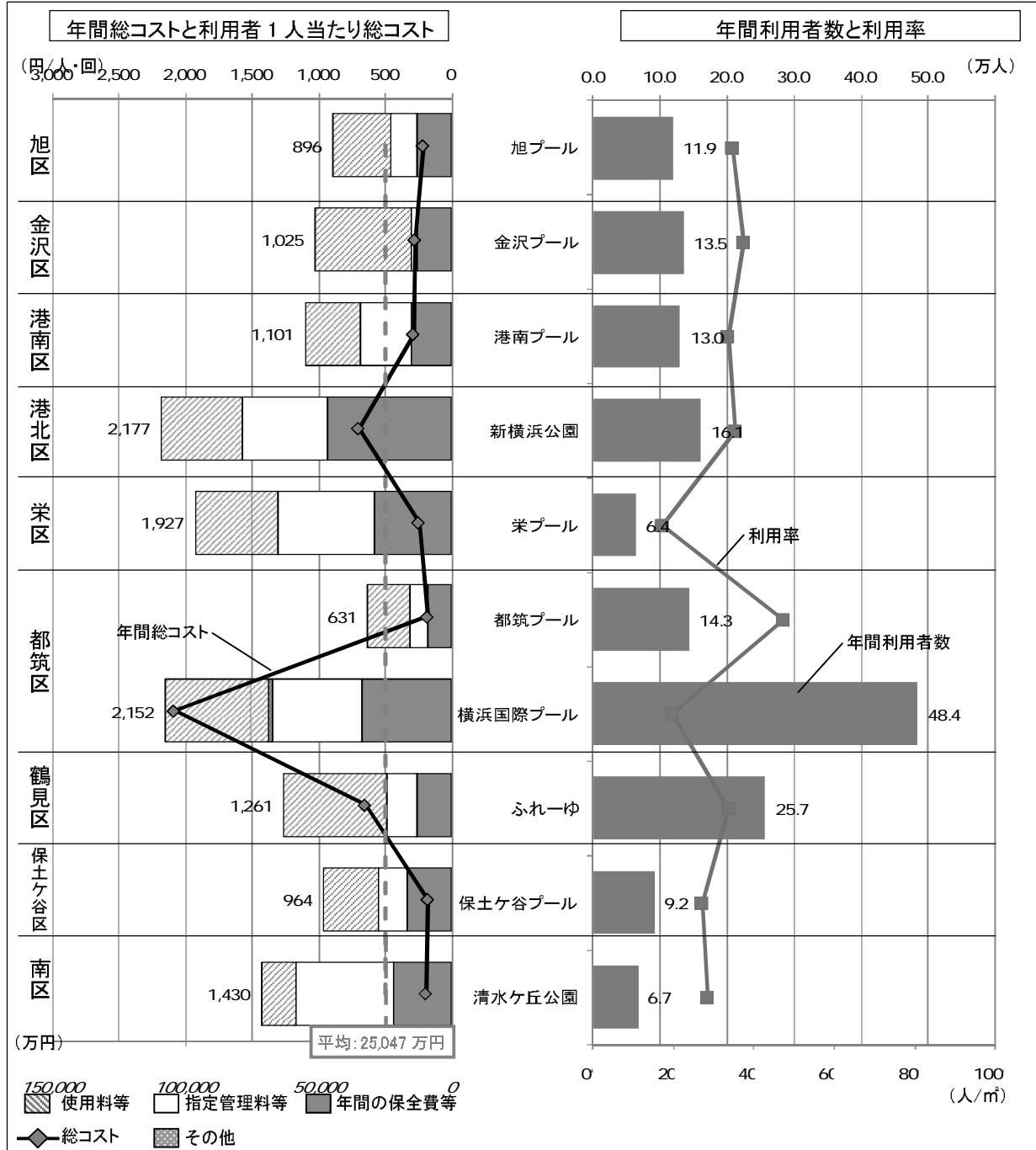
築 30 年以上経過した施設は、4 施設・1 万 3,812 m²（水面積）（約 19%）となっています。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、横浜国際プールが最も多く約 50 万人の利用があります。

利用者 1 人当たり総コストは、約 630~2,100 円/人と 3 倍以上の差があります。



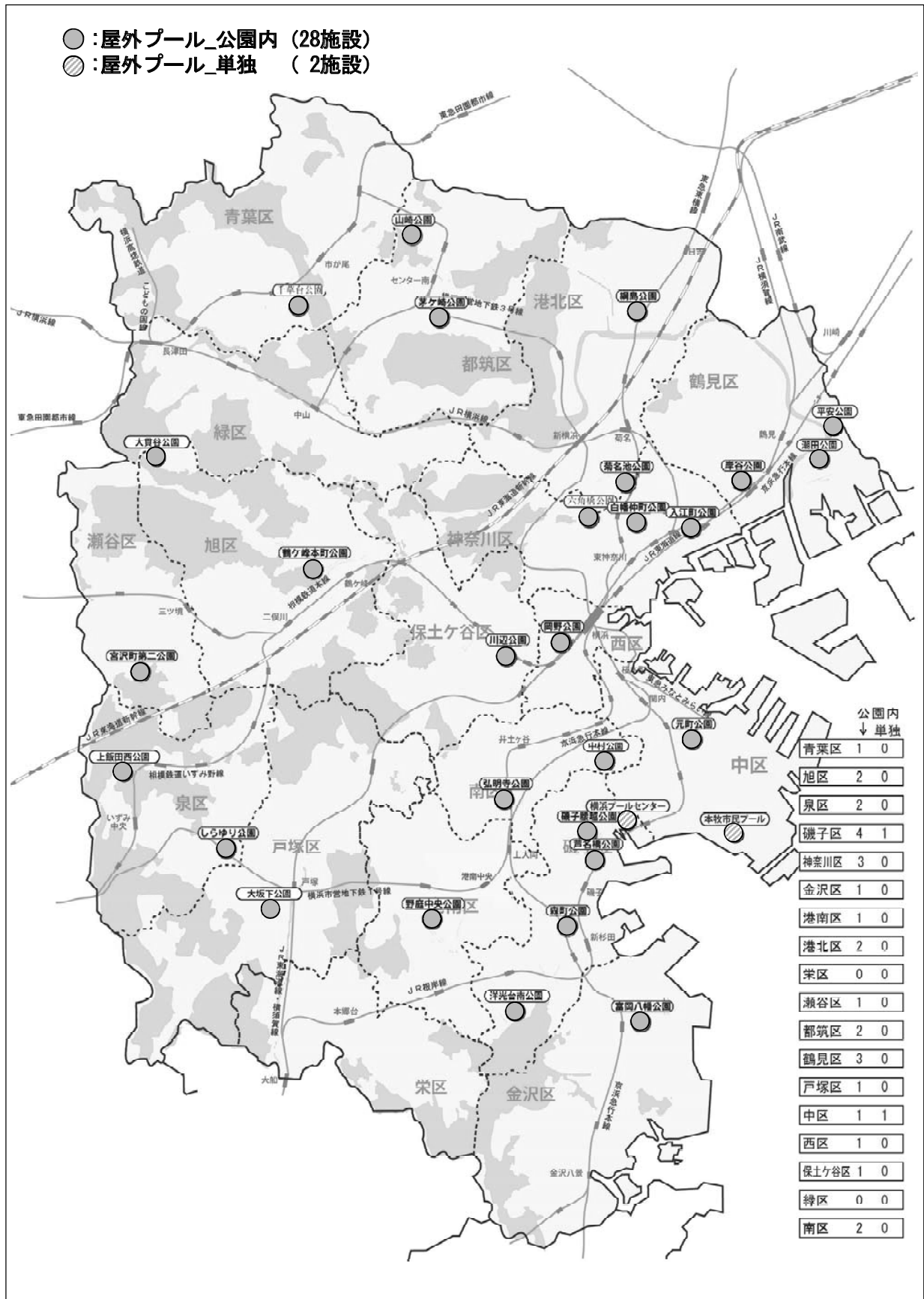
(19) 屋外プール

ア 概要

屋外プールは市内に 30 施設が整備されています。そのうち公園プール（屋外）は、都市公園法等に基づき公共の福祉の増進を目的として設置されており、一部の施設は人口急増期に不足した学校プールの補完的な役割を持つ施設や埋め立てに伴う代替施設として整備されてきました。

基本情報	施設数	30 施設	設置基準	—
	平均規模 (水面積)	883 m ² (公園プール : 488 m ²) (その他屋外プール : 6,419 m ²)	平均築年数	36 年
	施設利用料 (有料・無料)	有料	管理形態	指定管理者(27)、 無償貸付(2) 休止中(1)
	主な諸室	プール、更衣室・ロッカー 室 等	設置根拠	都市公園法及び 横浜市公園条例(公園プール)
運営状況		合 計		1 施設当たり平均
	年間総コスト	6 億 3,024 万円		2,173 万円/施設
	年間利用者数	67万 338 人		2万3,115 人 /施設
	年間利用率	—		34.4 人/m ² (水面積)/施設
	利用者 1 人 当たりコスト	<div style="text-align: center;"> 管理運営費(613円) 940 円/人・回 保全費(327円) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 使用料等 253円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%; text-align: center;"> 税負担額 指定管理料等 360円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;"> 年間の保全費等 327円 </div> </div>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数は H21～H23 年度における営業期間中入場人数の 3 か年平均。 ・「上飯田西公園 屋外プール」は平成 21 年度から休止中（こども用プールは平成 22 年度から休止）のため、上記運営状況から除外。 			

イ 配置状況

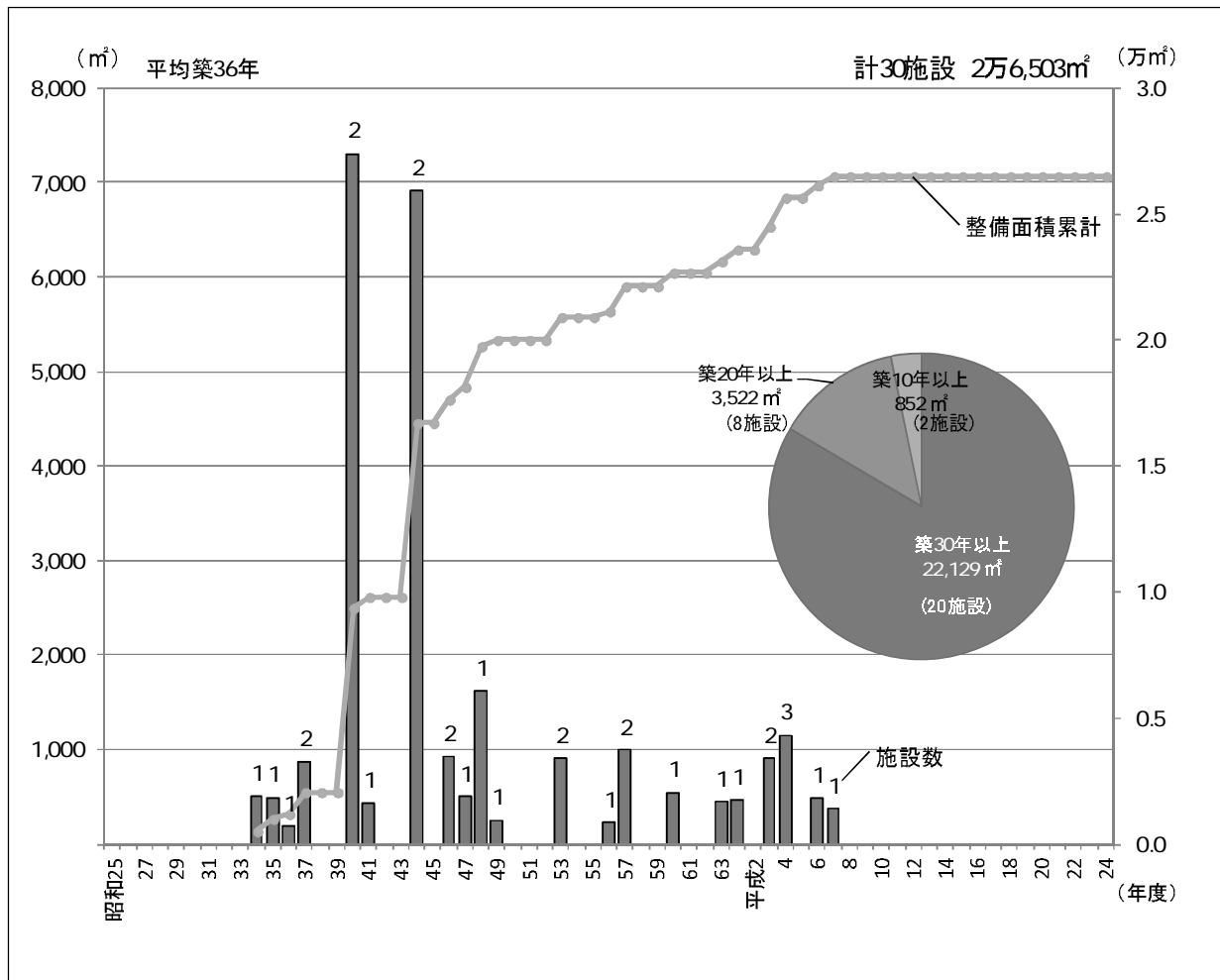


ウ 築年別整備状況 (平均 築 36 年)

屋外プールは、市全体で 30 施設・2 万 6,503 ㎡ (水面積) 整備されています。昭和 30 年代から整備が始まり、平成に入るまで継続的に整備が行われました。

施設全体の平均築年数は、36 年です。

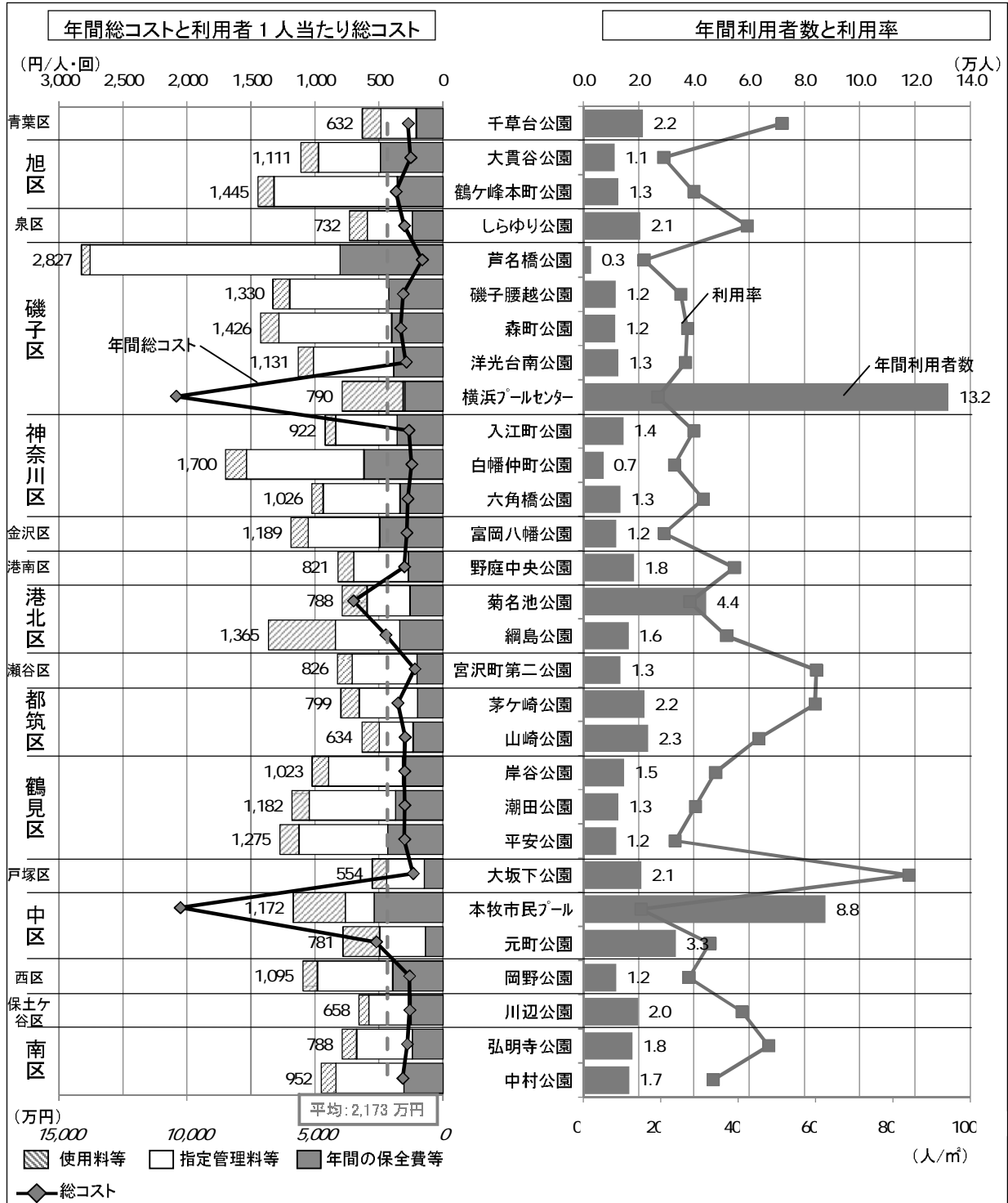
築 30 年以上経過した施設は、20 施設・2 万 2,129 ㎡ (水面積) (約 83%) となっています。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、横浜プールセンターで13万人を超えている一方、3,000人を下回る施設もあります。

利用者1人当たり総コストは約550~2,800円/人で、5倍近い差があります。



※「上飯田西公園 屋外プール」は平成21年度から休止中（こども用プールは平成22年度から休止）のため、上記グラフから除外。

(20) 体育館・競技場・スタジアム

ア 概要

スポーツ大会・集会・式典・イベント等の興行などを目的とした規模の大きい屋内・屋外施設であり、プロスポーツチームのホームグラウンドとして使われている非常に規模の大きい施設も含め市内に7施設が整備されています。

基本情報	施設数	7 施設	設置基準	—		
	平均規模	2万9,139㎡	平均築年数	36年		
	施設利用料 (有料・無料)	有料	管理形態	指定管理者(4)、 直営(2)、管理許可(1)		
	主な諸室	体育室、観覧室、トレーニング室等	設置根拠	横浜市スポーツ施設条例 都市公園法 横浜市公園条例		
運営状況		合計		1施設当たり平均		
	年間総コスト	27億668万円		4億5,111万円/施設		
	年間利用者数	182万9,772人 (339万4,074人)		30万4,962人/施設 (48万4,868人/施設)		
	年間稼働率	—		74.6% /施設		
	利用者1人 当たりコスト	<p style="text-align: center;">1,479円/人・回</p> <p style="text-align: center;">管理運営費(571円) 保全費(908円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">使用料等 245円</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">指定管理料等 ・運営費 326円</td> <td style="width: 70%; text-align: center;">年間の保全費等 908円</td> </tr> </table>			使用料等 245円	指定管理料等 ・運営費 326円
使用料等 245円	指定管理料等 ・運営費 326円	年間の保全費等 908円				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜スタジアム」は本市との協定に基づき運営されており、管理業務委託以外の維持補修については(株)横浜スタジアムが負担しているため、上記運営状況から除外しているが、年間利用者数については()内で当該施設を含んだ値を記載。 ・年間利用者数はH21～H23年度における総利用者数の3か年平均。 					

イ 配置状況

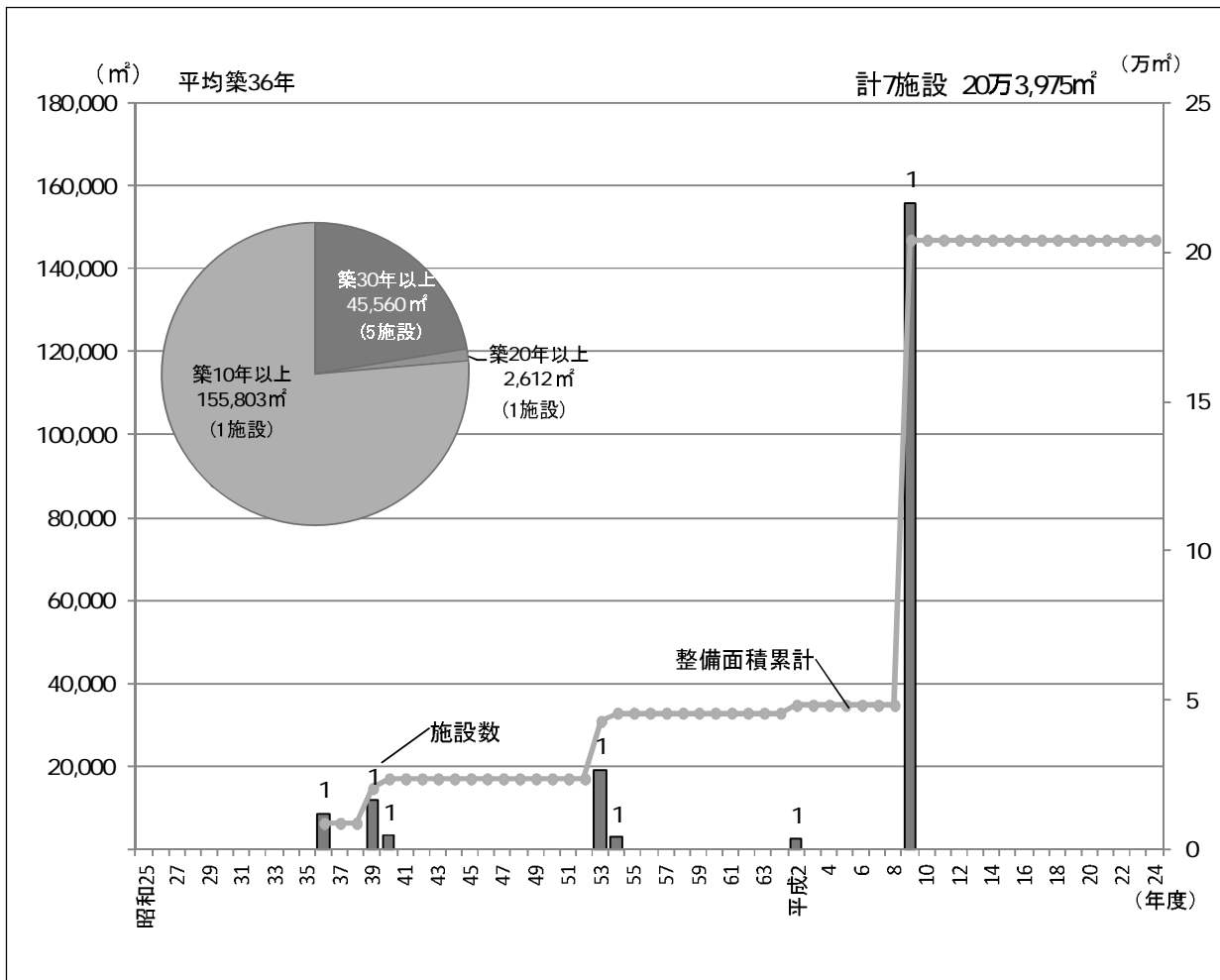


ウ 築年別整備状況（平均 築 36 年）

体育館・競技場・スタジアムは、市全体で7施設・20万3,975㎡整備されています。最も規模の大きい施設は日産スタジアムで15万5,803㎡あります。

施設全体の平均築年数は、36年です。

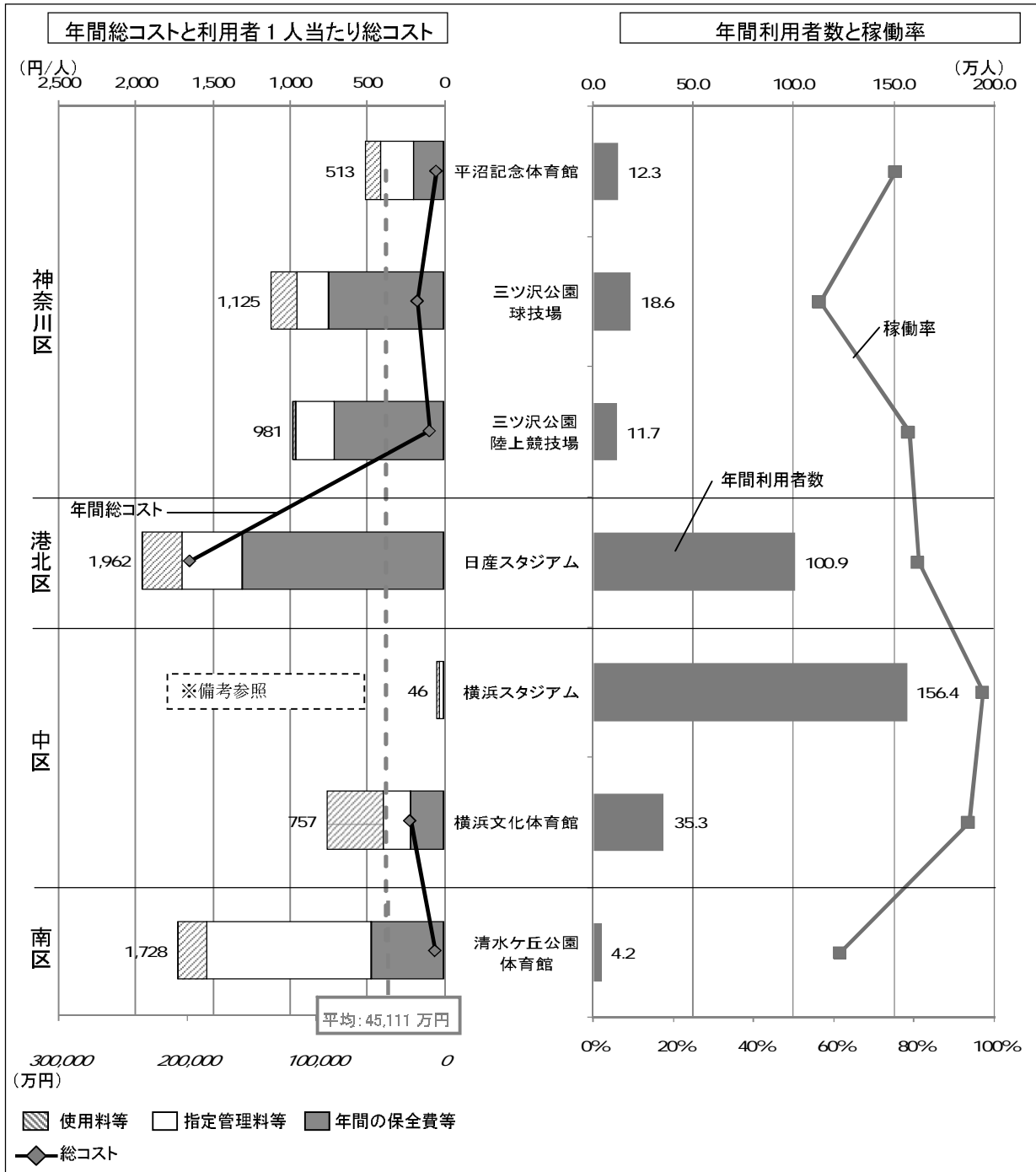
築30年以上経過した施設は、5施設・4万5,560㎡（約22%）となっています。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、横浜スタジアムが最も多く約156万人の利用があります。各施設の稼働率は、57%～97%です。

利用者1人当たり総コストでは、約510～1,730円/人と、3倍以上の差があります（横浜スタジアムを除く）。



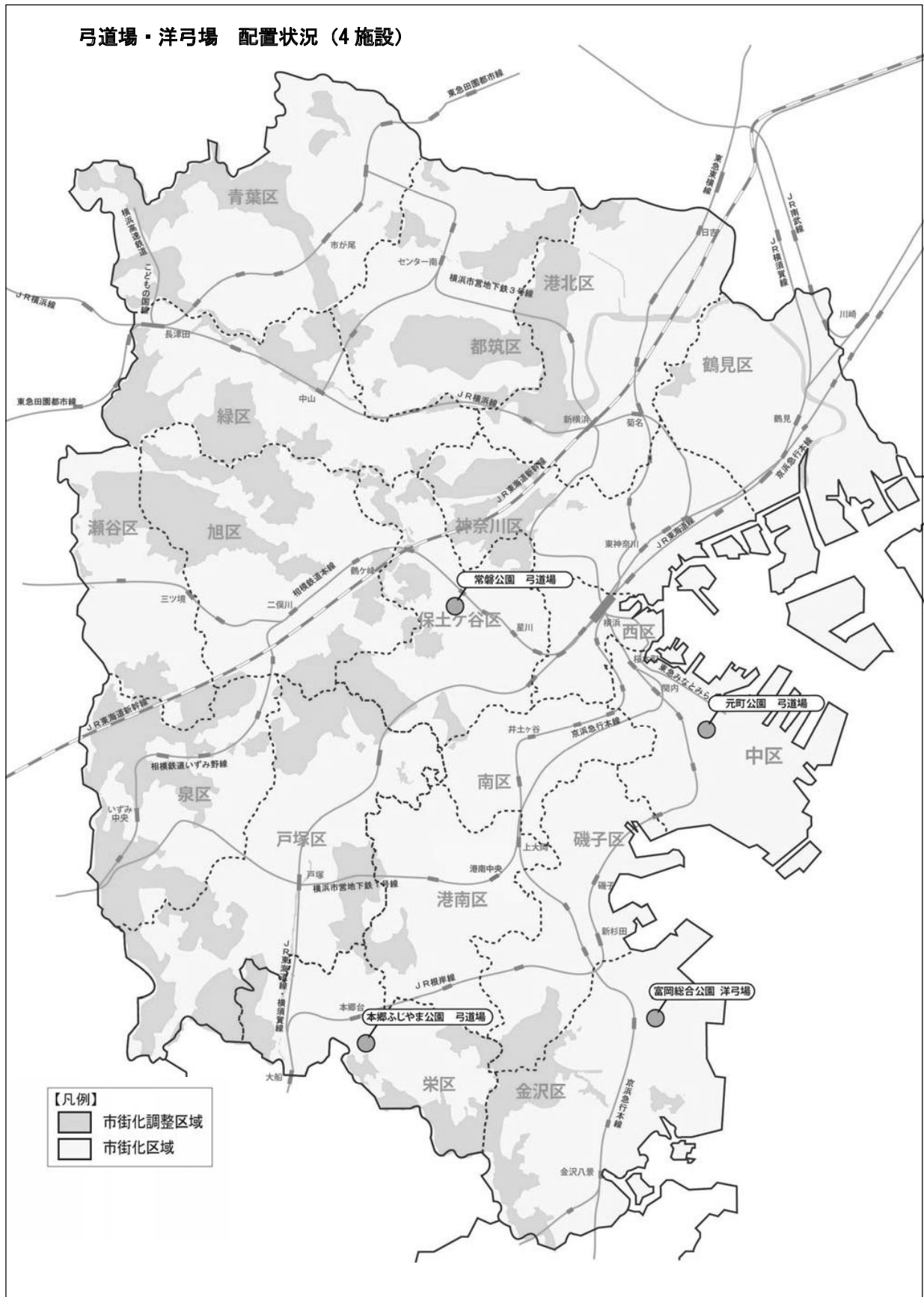
※「横浜スタジアム」は本市との協定に基づき管理業務委託以外の維持補修については㈱横浜スタジアムが負担。よって年間総コストの平均の計算からは除いている。

(21) 弓道場・洋弓場

ア 概要

<p>公平、安全、快適、気軽に、弓道・洋弓を楽しめる施設であり、遠的を備えている施設など市内の公園内に4施設整備されています。</p>															
基本情報	施設数	4 施設	設置基準	—											
	平均規模	281 m ²	平均築年数	27 年											
	施設利用料 (有料・無料)	有 料	管理形態	指定管理者											
	主な諸室	射場、事務室、更衣室、会議室、トイレほか	設置根拠	都市公園法											
運営状況		合 計		1施設当たり平均											
	年間総コスト	3,927 万円		982 万円/施設											
	年間利用者数	4万2,425 人		1万606 人 /施設											
	年間稼働率	—		—											
	利用者1人 当たりコスト	<p style="text-align: center;">925 円/人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">管理運営費(715円)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">保全費(210円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">使用料等 306円</td> <td style="text-align: center;">その他 166円</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">税負担額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">指定管理料等 243円</td> <td style="text-align: center;">年間の保全費等 210円</td> </tr> </table>			管理運営費(715円)		保全費(210円)		使用料等 306円	その他 166円	税負担額				指定管理料等 243円
管理運営費(715円)		保全費(210円)													
使用料等 306円	その他 166円	税負担額													
		指定管理料等 243円	年間の保全費等 210円												
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数はH21～H23年度における利用者数の3か年平均。 ・保全費については構造的な類似施設の平均保全単価から算出。 ・この他に戸塚スポーツセンター及び泉スポーツセンター内に整備されている弓道場があるが、これらの利用者数やコスト情報等については、それぞれのスポーツセンターに含む。 														

イ 配置状況

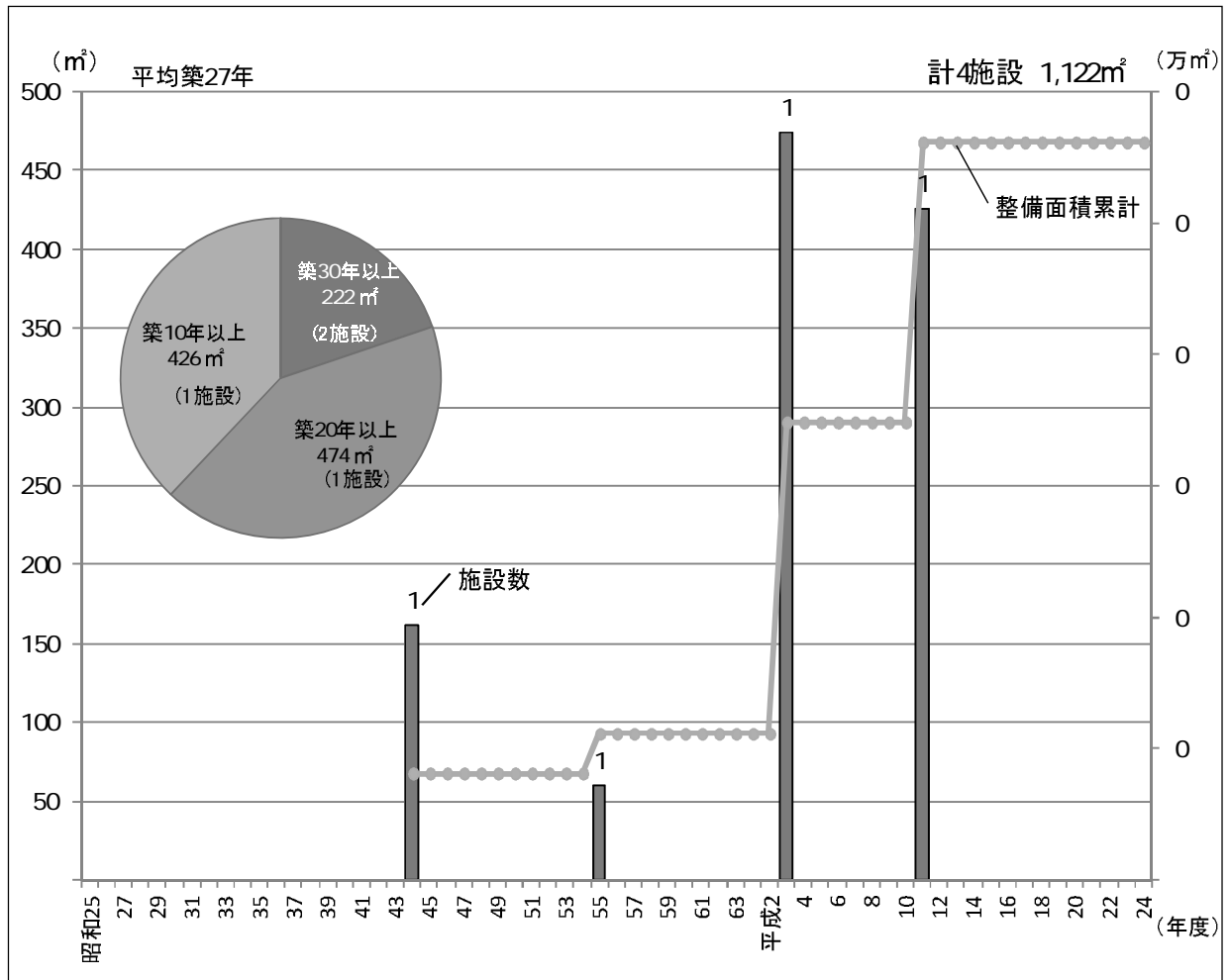


ウ 築年別整備状況（平均 築 27 年）

弓道場・洋弓場は、市全体で 4 施設・1,122 m²整備されています。

施設全体の平均築年数は、27 年です。

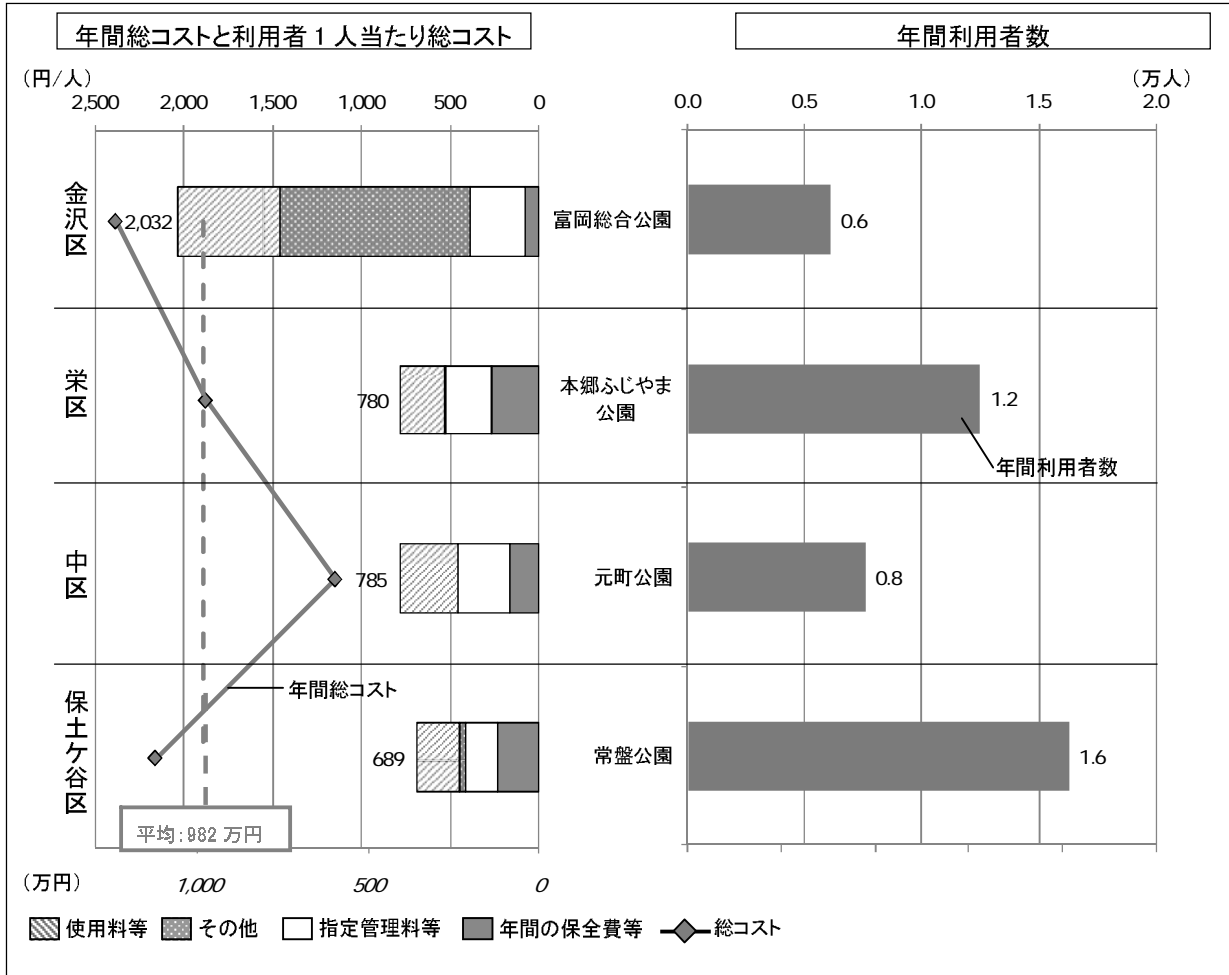
築 30 年以上経過した施設は、2 施設・222 m²（約 20%）となっています。



エ 利用状況とコスト状況

施設別の利用状況は、富岡総合公園の約0.6万人から常盤公園弓道場の約1.6万人となっています。

利用者1人当たり総コストでは、約700～2,000円/人と、3倍近い差があります。



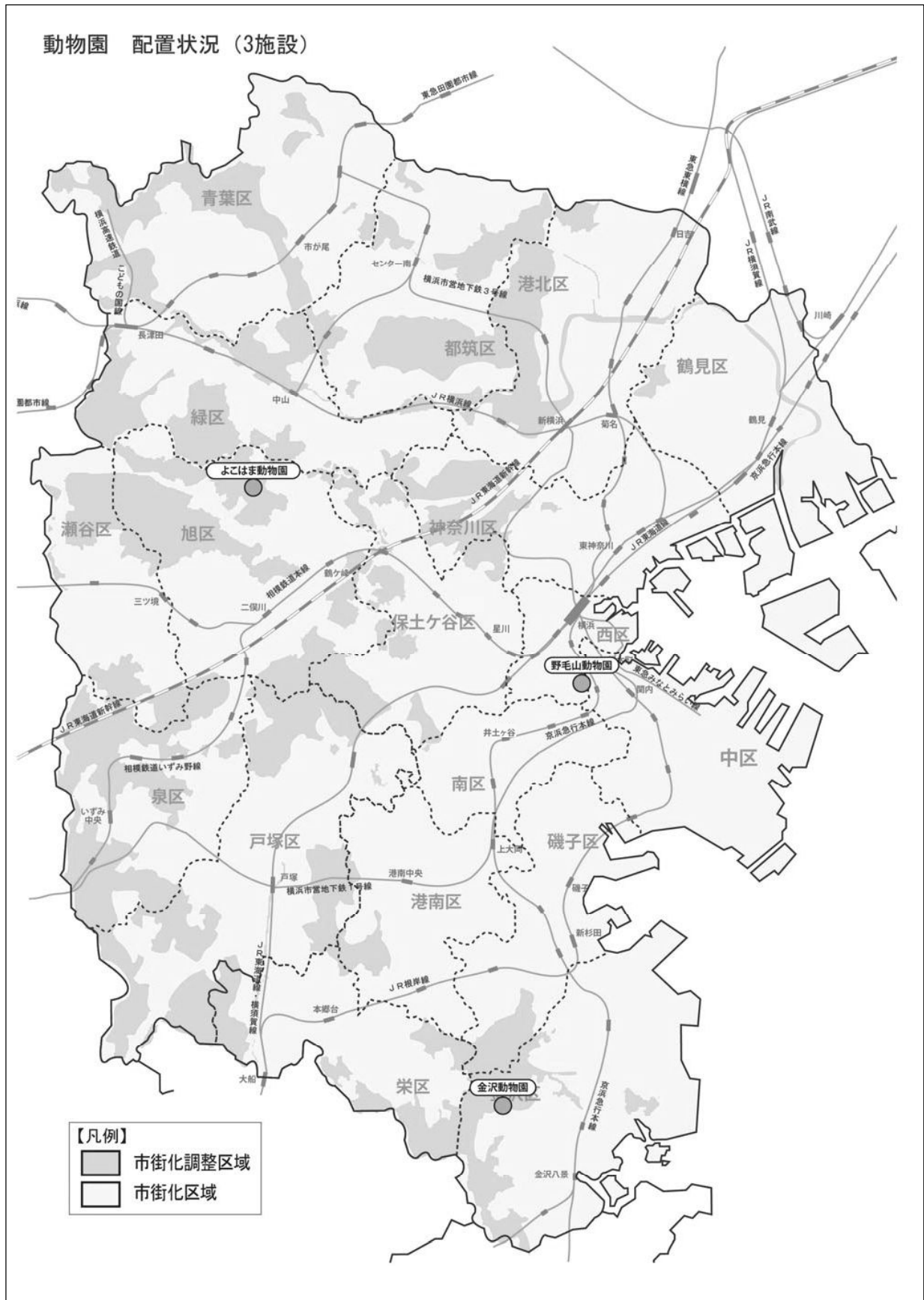
※保全費については構造的な類似施設の平均保全単価から算出。

(22) 動物園

ア 概要

<p>動物園は、次の4つの社会的な役割を果たす施設として、市内に3施設整備されています。</p> <p>①自然保護の場 ②調査研究の場 ③社会教育の場 ④レクリエーションの場</p>				
基本情報	施設数	3 施設	設置基準	—
	平均規模	2万3,572 m ²	平均築年数	35 年
	施設利用料 (有料・無料)	よこはま動物園 : 有料 金沢動物園 : 有料 金沢自然公園植物区 : 無料 野毛山動物園及び 野毛山公園 : 無料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	動物飼育舎、事務所、休 養・便益施設 等	設置根拠	都市公園法 博物館法 横浜市動物園条例
運営状況		合 計	1施設当たり平均	
	年間総コスト	— 万円	— 万円/施設	
	年間利用者数	207万6,585 人	69万2,195 人 /施設	
	年間稼働率	—	—	
	利用者1人 当たりコスト	—	—	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の総コストは、動物園の建築物等の保全計画を策定中のため非掲載。 ・年間利用者数はH21～H23年度における入場者数の3か年平均。 			

イ 配置状況

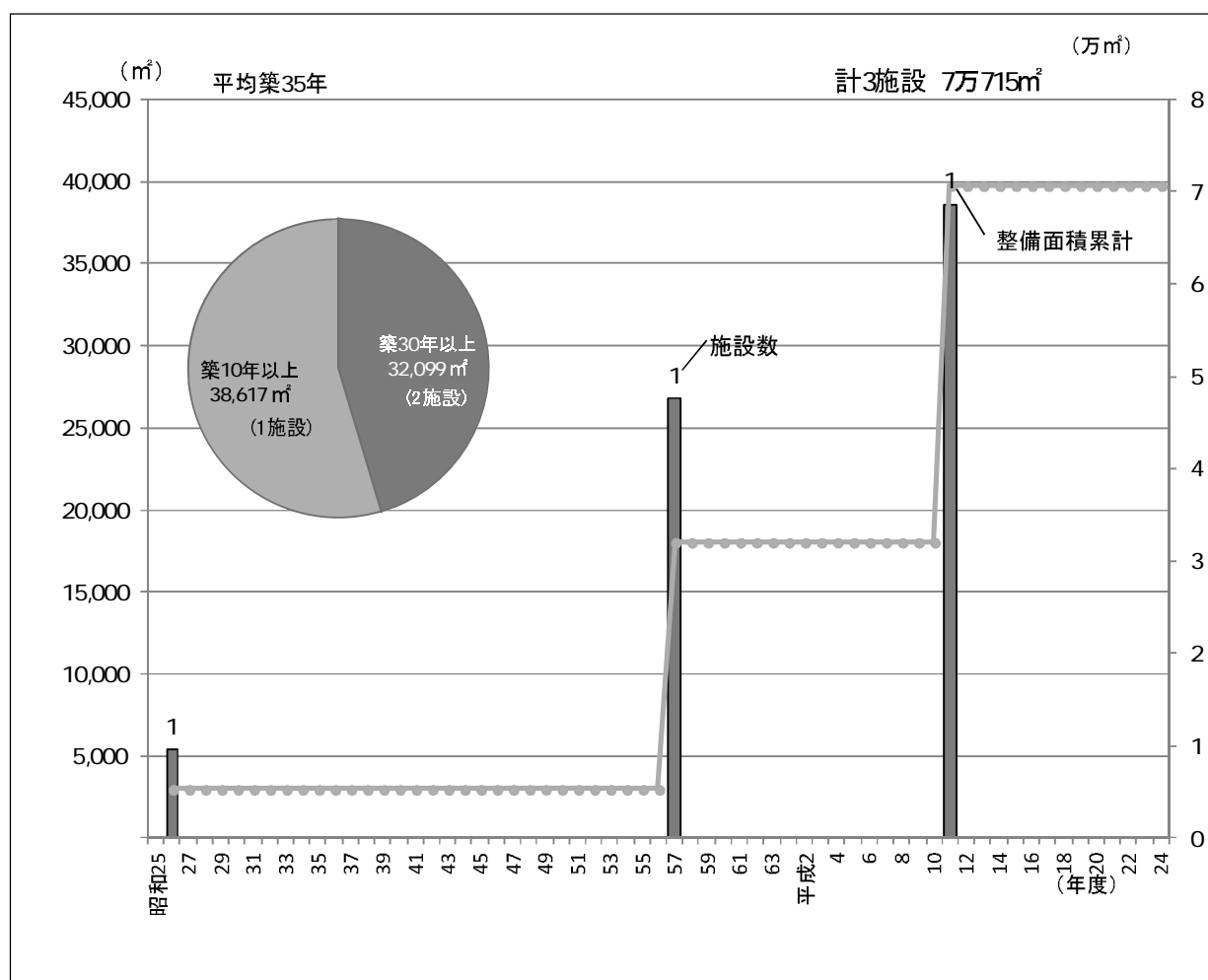


ウ 築年別整備状況（平均 築 35 年）

動物園は、市全体で3施設・7万715㎡整備されています。もっとも規模の大きい施設は、よこはま動物園で38,617㎡あります。

施設全体の平均築年数は、35年です。

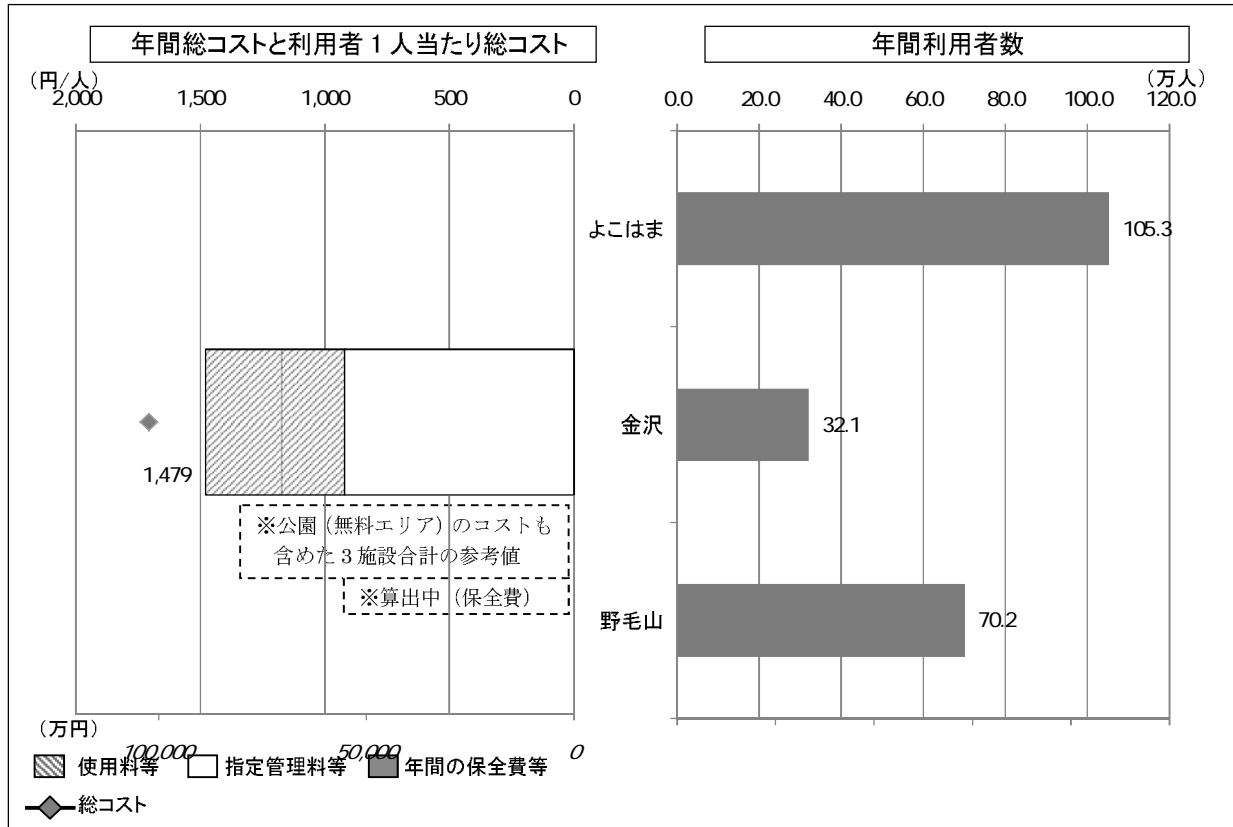
築30年以上経過した施設は、2施設・3万2,099㎡（約45%）となっています。



エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、よこはま動物園が最も多く、100万人を超えています。

動物園は3施設を一括して指定管理協定を締結しています。また、無料エリアの公園のコストも含めての算定となっています。このためコスト状況は3施設全体での参考値となります。



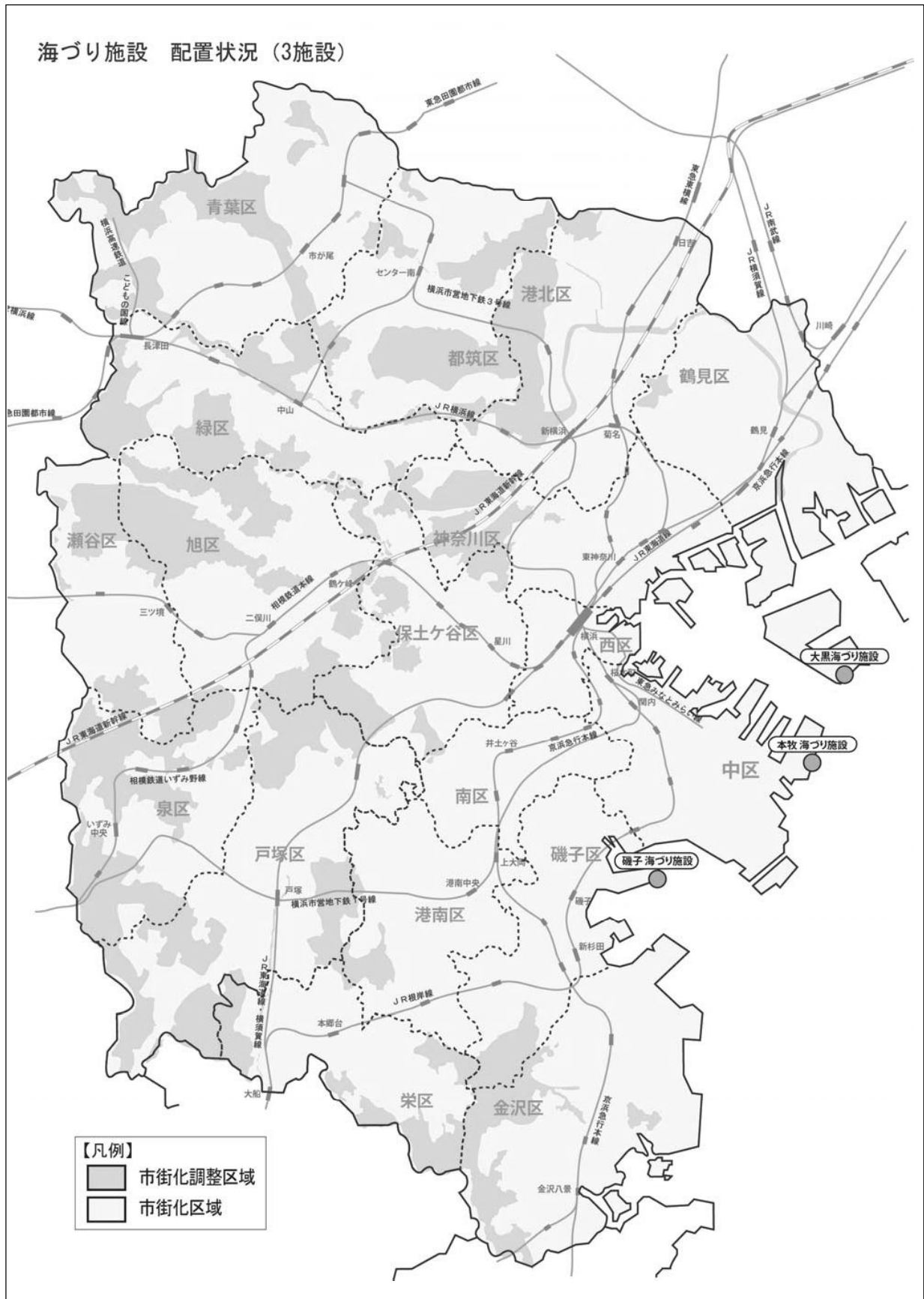
※ 動物園の建築物等の年間の保全費は、保全計画を現在策定中。

(23) 海づり施設

ア 概要

<p>海づり施設は、潮風に吹かれ、港に出入りする船を見ながら、安全で快適な海づりを楽しむことを目的とした施設であり、市内に3施設整備されています。</p>				
基本情報	施設数	3 施設	設置基準	—
	平均規模	401 m ²	平均築年数	27 年
	施設利用料 (有料・無料)	有料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	管理棟(売店、休憩室 等)	設置根拠	横浜市海づり施設条例
運営状況		合 計		1施設当たり平均
	年間総コスト	1億7,498万円		5,833万円/施設
	年間利用者数	21万6,105人		7万2,035人/施設
	年間稼働率	—		—
	利用者1人 当たりコスト	<p>管理運営費(770円) 810円/人・回 税金負担額 40円</p> <p>使用料等 803円</p> <p>年間の保全費等 40円</p> <p>本市への納付金(33円)</p>		
備考	・年間利用者数はH21～H23年度における棧橋入場者の3か年平均。			

イ 配置状況

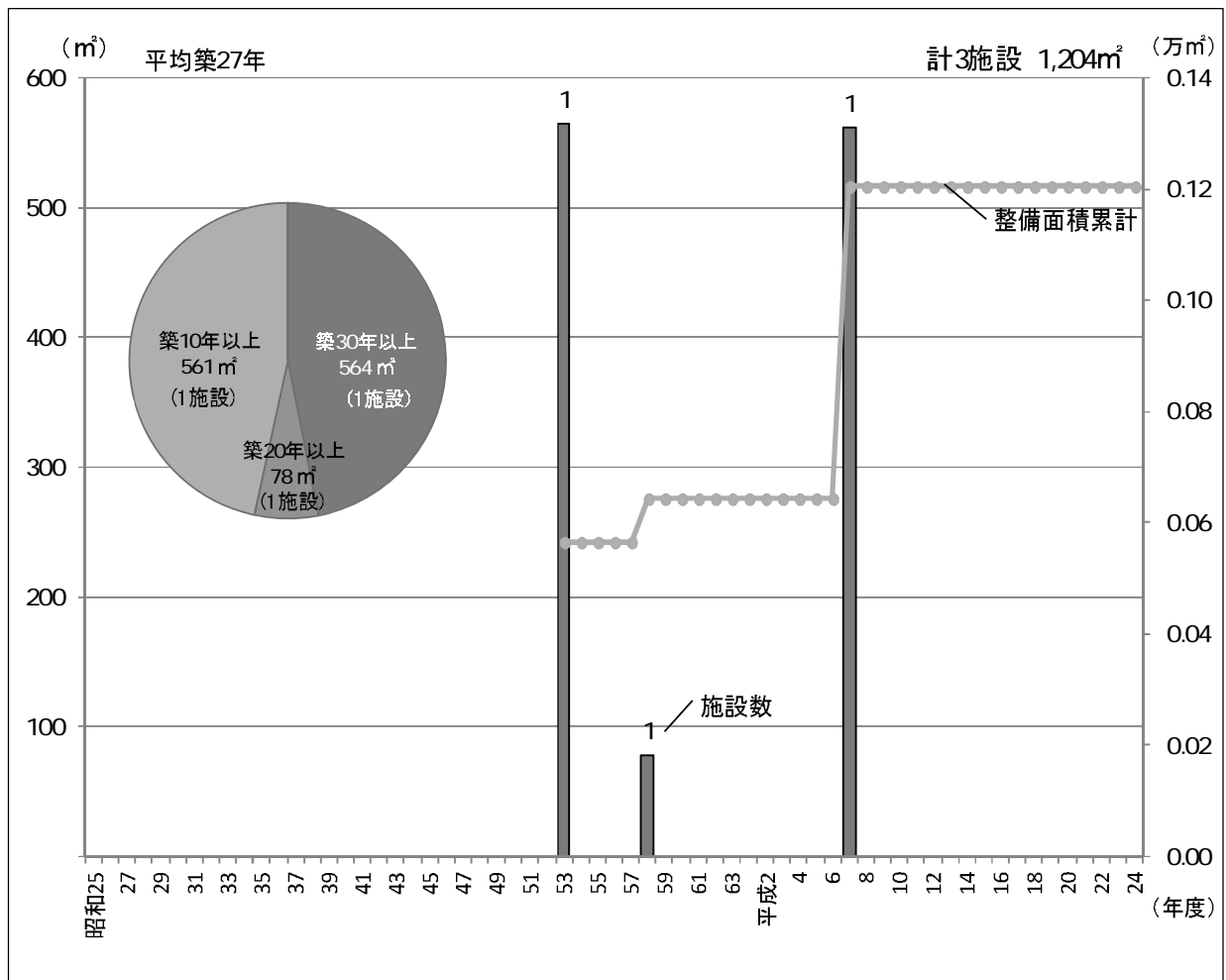


ウ 築年別整備状況（平均 築 27 年）

海づくり施設は、市全体で 3 施設・1,204 m²整備されています。

施設全体の平均築年数は、27 年です。

築 30 年以上経過した施設は、1 施設・564 m²となっています。

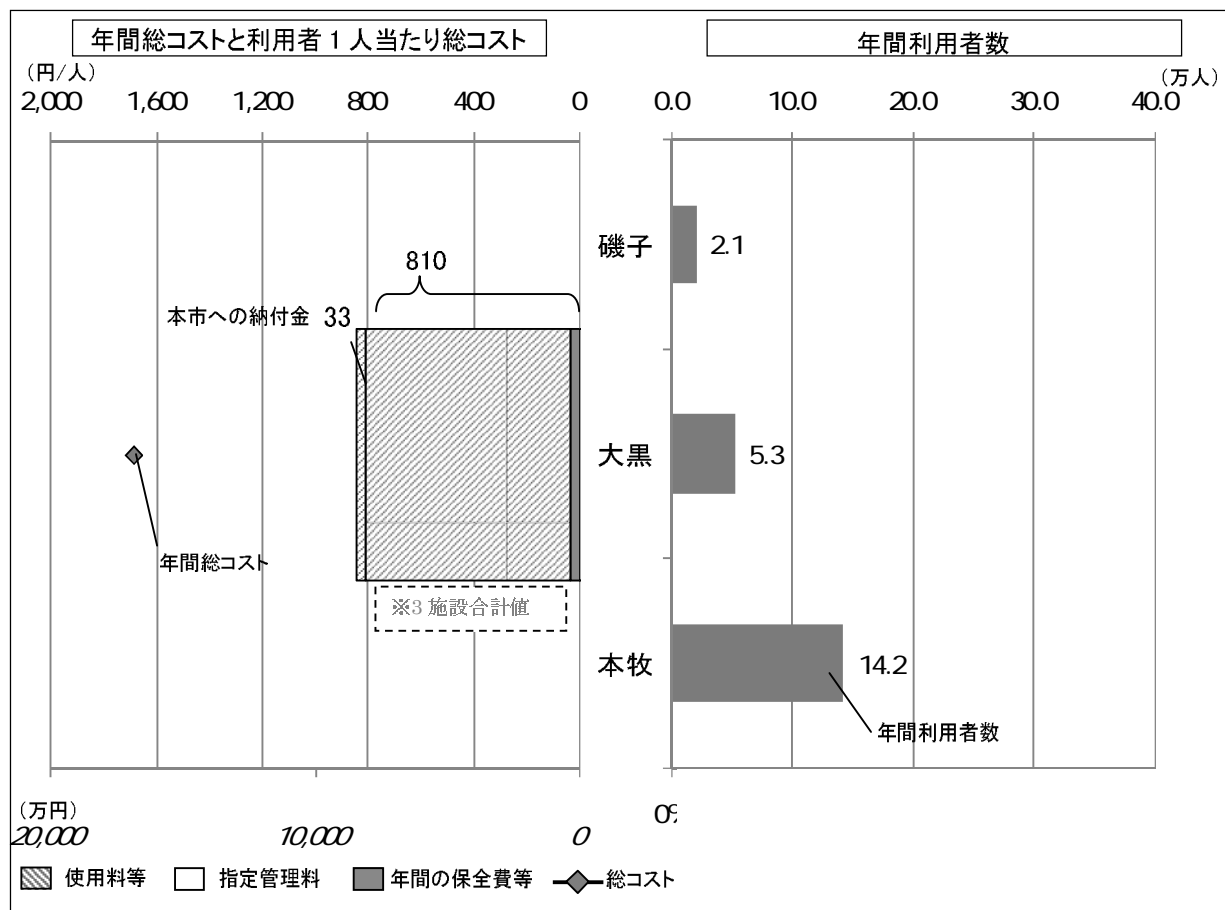


① 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、本牧海釣り施設が最も多く、14万人を超えています。

コスト状況としては、施設の使用料収入等で必要な管理運営費を賄っている状況です。

保全費を含めた利用者1人当たりの総コストは、約810円となっています。



※ 海釣り施設では3施設一体で管理協定を締結しており、コストに関するグラフは3施設全体での状況を示す。

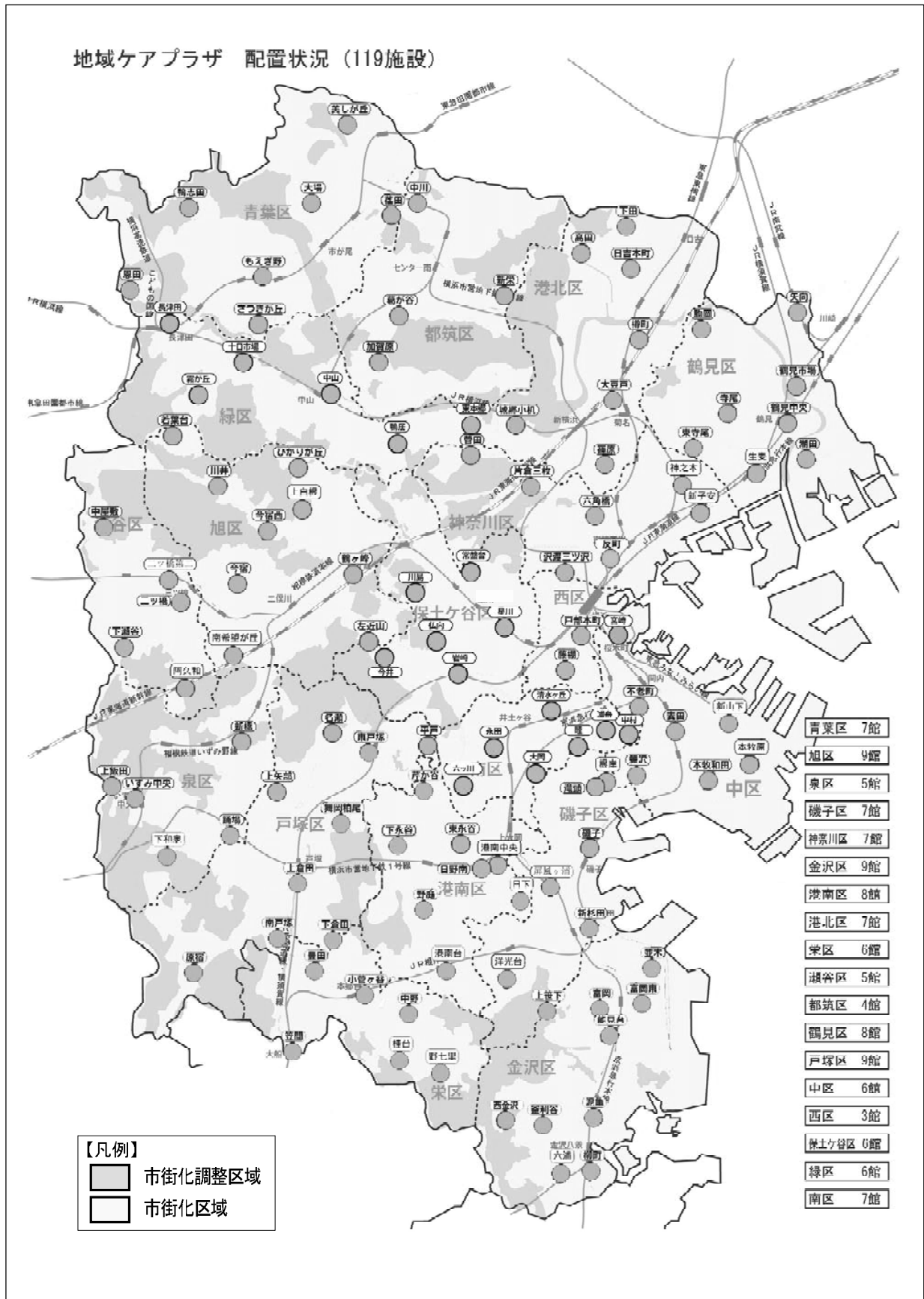
(24) 地域ケアプラザ

ア 概要

身近な地域で様々な福祉サービスを一体的に提供する施設であり、「地域活動・交流部門」、「地域包括支援センター」、「居宅介護支援」、「通所介護（デイサービス）」といった4つの機能を持っています。介護保険のサービスと保険外のサービス（本市の一般行政サービス・ボランティアによる活動や事業等）を一体的に提供することで、高齢者を中心に子どもや障害者が幅広い地域生活を営めるよう、事業展開が各ケアプラザで行われており、市内に現在119施設整備されています。（デイサービス機能については、平成18年度からの新設施設は未設置）

基本情報	施設数	119 施設	設置基準	中学校区程度に1箇所
	平均規模	1,006 m ²	平均築年数	12 年
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	ボランティアコーナー、地域ケアルーム、多目的ホール、相談室、デイルーム、食堂、調理室、浴室、事務室 等	設置根拠	横浜市地域ケアプラザ条例
運営状況		合 計		1施設当たり平均
	年間総コスト	200億8,308 万円		1億7,773 万円/施設
	年間利用者数	310万2,602 人		2万7,457 人 /施設
	年間稼働率	—		38.3 % /施設
	利用者1人 当たりコスト	<p>6,473 円/人・回</p> <p>管理運営費(6,190円) 保険費(283円)</p> <p>使用料等 79円 その他 4,499円</p> <p>税負担額</p> <p>指定管理料等年間の保険費等 1,612円 283円</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「芹ヶ谷、六角橋、恩田、生麦、川島地域ケアプラザ、二ツ橋第二地域ケアプラザ」は、H23年度途中の開所のため、運営状況からは除く。 ・「今宿西地域ケアプラザ」は、H22年度途中の開所のため、年間利用者数、年間稼働率はH23年度の値を掲載。 ・「上笹下地域ケアプラザ」は、H23年度4月1日開所のため、年間利用者数、年間稼働率はH23年度の値を掲載。 ・「常盤台、新橋、中川、日野南、柳町地域ケアプラザ」は、H21年度途中の開所のため、年間利用者数、年間稼働率はH22、H23年度の2か年平均。 ・上記以外の施設は、H21～H23年度における値の3か年平均 			

イ 配置状況

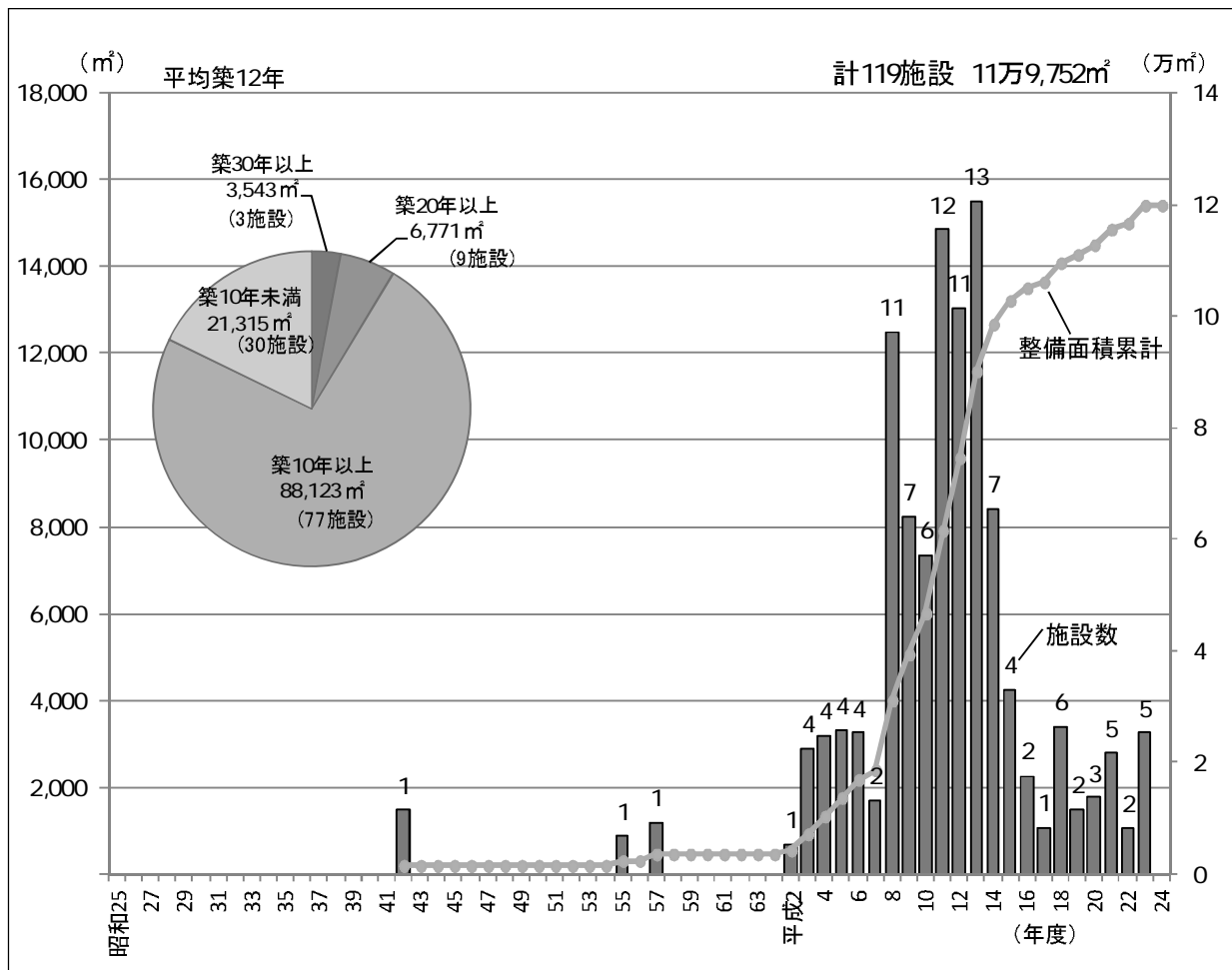


ウ 築年別整備状況 (平均 築 12 年)

地域ケアプラザは、市全体で 119 施設・11 万 9,752 m²整備されており、平成 13 年に最も多く整備されました (13 施設 1 万 5,498 m²)。

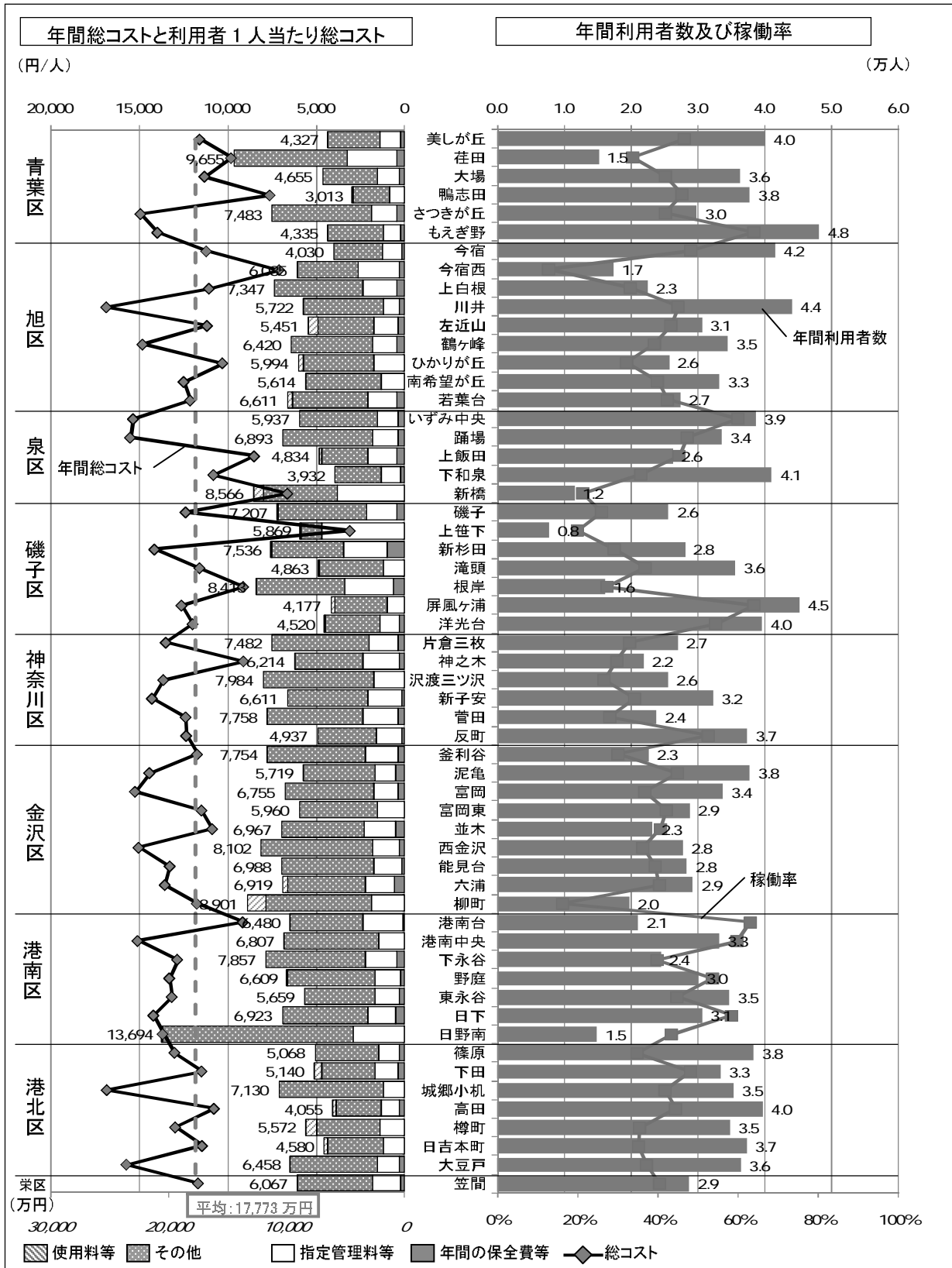
施設全体の平均築年数は、12 年です。

築 30 年以上経過した施設は、3 施設 3,543 m² (約 3%) ありますが、これらの施設は、元々病院や学校等で整備されていたものを改修して活用しているものです。



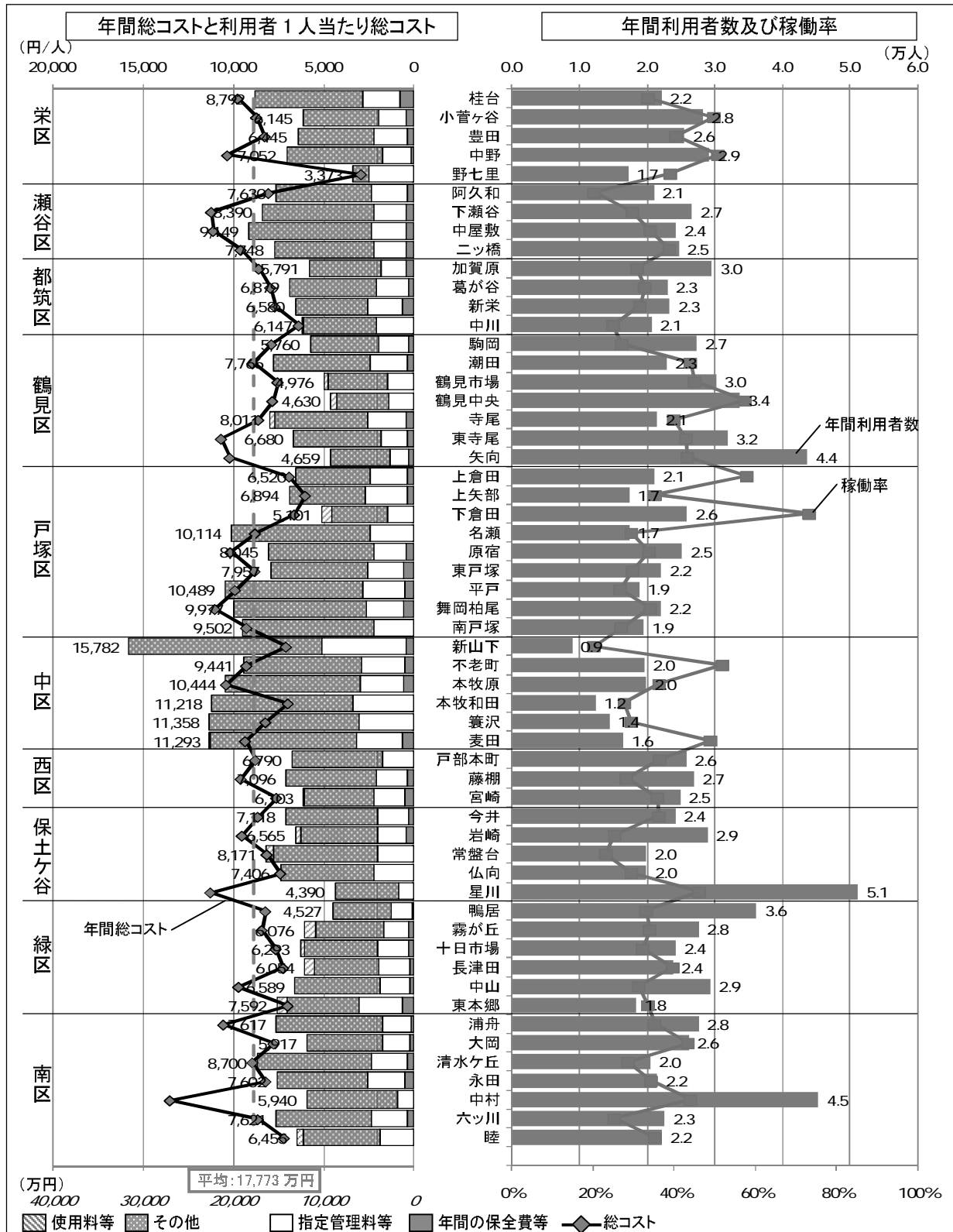
エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数が4万人を超えている施設がある一方で1万人前後の施設も見られます。
利用者1人当たりの総コストでは、約3,000~16,000円/人と5倍以上の差があります。



※「芹ヶ谷、六角橋、恩田、生麦、川島地域ケアプラザ、二ツ橋第二地域ケアプラザ」は、H23年度途中の開所のため、上記グラフから除く。

(24) 地域ケアプラザ



※「芹ヶ谷、六角橋、恩田、生麦、川島地域ケアプラザ、二ツ橋第二地域ケアプラザ」は、H23 年度途中の開所のため、上記グラフから除く。

(25)老人福祉センター

ア 概要

<p>老人福祉センターは、地域の高齢者が健康で明るい生活ができるよう、各種相談を行うほか、健康作り、教養の向上及びレクリエーションの機会を提供し、高齢者の社会参加を支援する施設として、各区に1施設設置されています。</p>				
基本情報	施設数	18 施設	設置基準	1区に1施設
	平均規模	1,714 m ²	平均築年数	28 年
	施設利用料 (有料・無料)	無 料	管理形態	指定管理者
	主な諸室	大広間、機能回復訓練室、 娯楽室、浴室 等	設置根拠	横浜市老人福祉施設条例
運営状況		合 計		1施設当たり平均
	年間総コスト	12億 372 万円		6,687 万円/施設
	年間利用者数	158万2,866 人		8万7,937 人 /施設
	年間稼働率	—		—
	利用者1人 当たりコスト	<p style="text-align: center;">761 円/人・回</p> <p style="text-align: center;">管理運営費(561円) 保全費(200円)</p> <p style="text-align: center;">税負担額</p> <p style="text-align: center;">指定管理料等 552円</p> <p style="text-align: center;">年間の保全費等 200円</p> <p style="text-align: center;">使用料等 9円</p>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数はH21～H23年度における総利用者数（個人利用＋団体利用＋その他）の3か年平均。 ・老人福祉センター南寿荘は南地区センターとの複合施設であり、2施設合わせた指定管理契約のため、指定管理料等、使用料等は面積按分により算出。 			

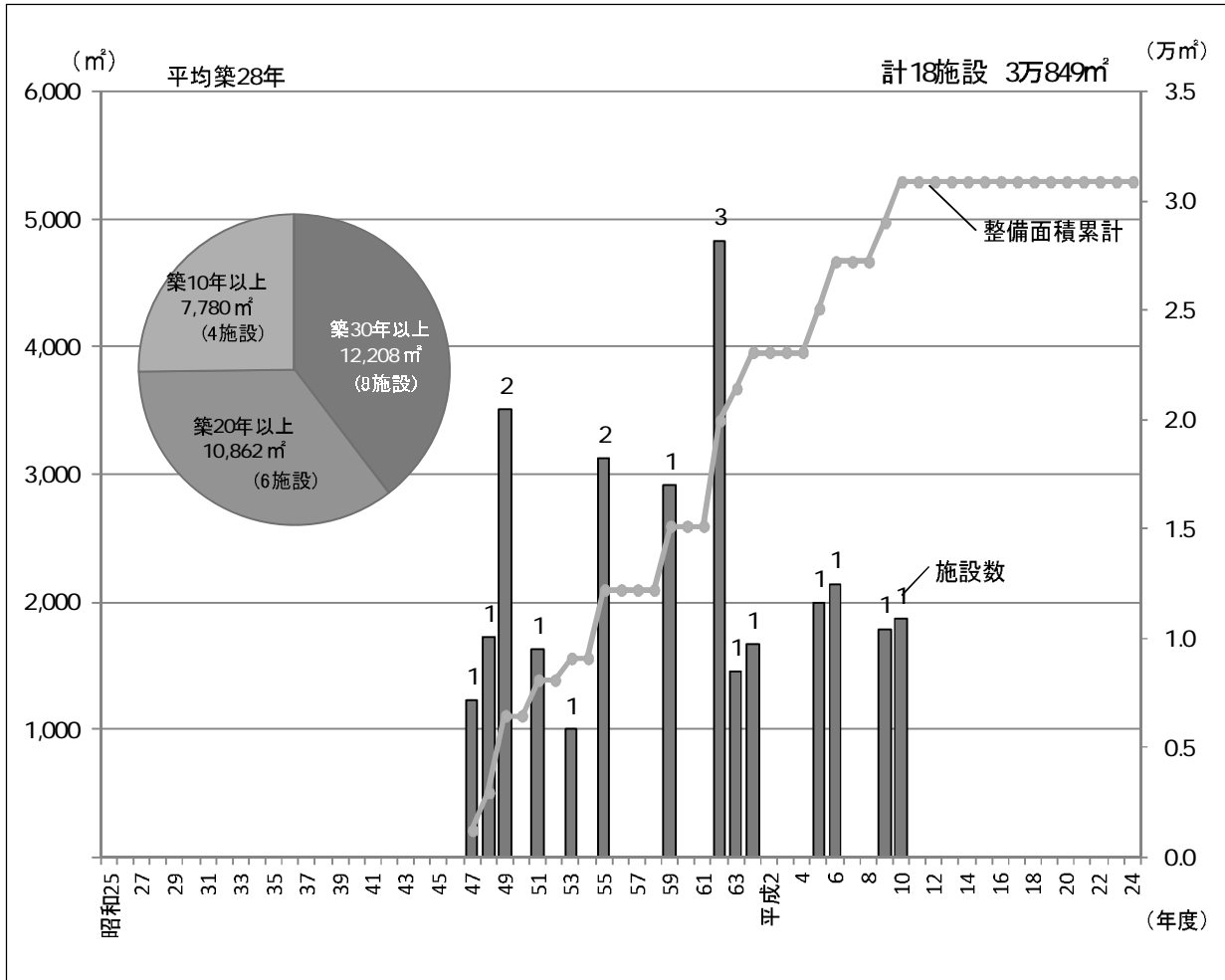
(25) 老人福祉センター

ウ 築年別整備状況 (平均 築 28 年)

老人福祉センター、市全体で 18 施設・3 万 849 ㎡整備されています。

施設全体の平均築年数は、28 年です。

築 30 年以上経過した施設は、8 施設 1 万 2,208 ㎡ (約 40%) となっております。

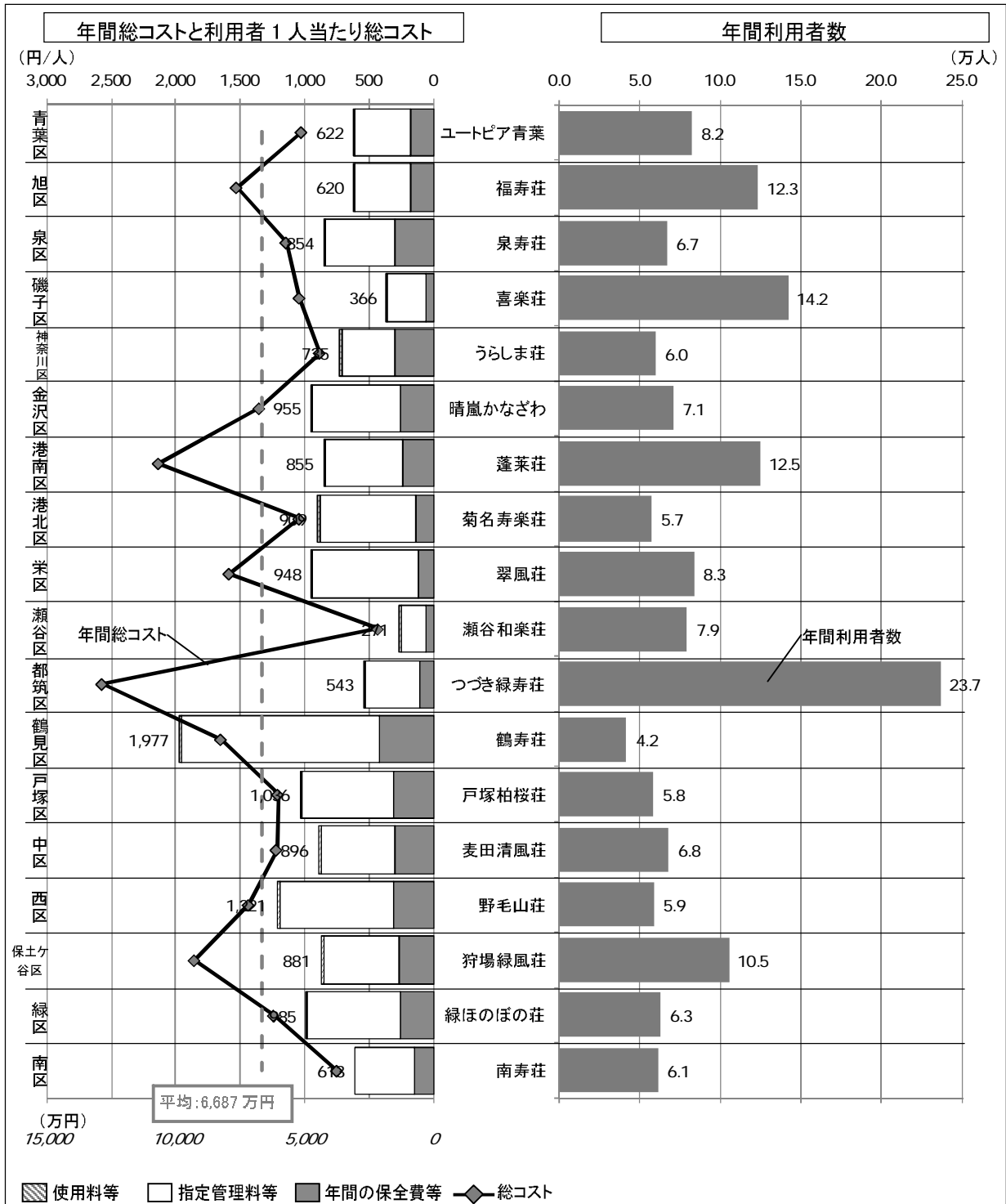


(25) 老人福祉センター

エ 利用状況とコスト状況

年間利用者数としては、つづき緑寿荘が最も多く 23 万人を超えています。

利用者 1 人当たりの総コストでは、約 270～約 2,000 円/人と 7 倍以上の差があります。



※老人福祉センター南寿荘は南地区センターとの複合施設であり、2施設合わせた指定管理契約のため、指定管理料等、使用料等は面積按分により算出。